

令和 7 年度  
袖ヶ浦市子育てアンケート  
調査結果

---

—令和 7 年 7 月実施—

## 1. 調査目的

次世代育成支援行動計画の事業評価について、個別事業レベルの進捗状況（アウトプット）に加え、個別事業を束ねた施策レベル、計画レベルの成果の指標（アウトカム）も経年的に測定することで、利用者の視点に立った柔軟かつ総合的な子育て支援施策の取り組みを検討していくために実施したものである。

## 2. 調査概要

- (1) 調査対象 令和7年5月1日時点の住民基本台帳より抽出した、小学校在学生までの保護者のうち、令和6年度子育てアンケート（令和6年6月実施）の対象者（1,100人）を除外した後、無作為抽出した1,100人
- (2) 調査方法 以下の①、②いずれかの方法で回答  
①郵送回答 返信用封筒により回答用紙を回収  
②Web回答 配布文書にQRコードを載せ、Webフォーム上で回答
- (3) 調査時期 令和7年7月4日（金）～7月25日（金）
- (4) 地区別配布数

地区	昭和	長浦	根形	平岡	中富	計
配布数	502人	449人	57人	38人	54人	1,100人

## 3. 回収状況

回収数 446人（回答用紙での回答147人 Webフォーム上での回答299件）

回収率 40.5%

### 【参考】過去5年間の子育てアンケート調査

- (1) 令和2年10月1日～10月20日 子育てアンケート（アウトカム調査）  
・小学校在学生までの保護者 郵送配布1,100人、回答596人(54.2%)
- (2) 令和3年8月25日～9月15日 子育てアンケート（アウトカム調査）  
・小学校在学生までの保護者 郵送配布1,100人、回答521人(47.4%)
- (3) 令和4年7月25日～8月22日 子育てアンケート（アウトカム調査）  
・小学校在学生までの保護者 郵送配布1,100人、回答552人(50.2%)
- (4) 令和5年5月31日～6月30日 子育てアンケート（アウトカム調査）  
・小学校在学生までの保護者 郵送配布1,100人、回答563人(51.2%)
- (5) 令和6年6月3日～7月5日 子育てアンケート（アウトカム調査）  
・小学校在学生までの保護者 郵送配布1,100人、回答547人(49.7%)

## 4. 集計方法

表示単位未満を四捨五入しているため、割合を合計しても必ずしも100%にならない場合があります。

設問4以降の男女別、年代別、地区別の各グラフには、各々の該当する設問（性別・年代・地区）の回答が「その他」または無回答である以下の者の回答は含まれておりません。

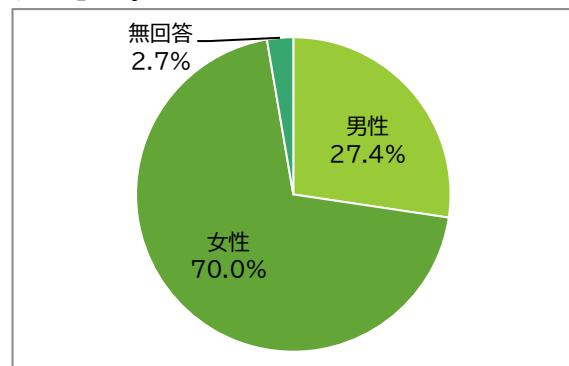
- 性別（設問1-1）無回答：12人
- 年代（設問1-2）無回答：3人
- 地区（設問2）その他：0人 無回答：14人

## 4. 調査結果について

### (1) 属性

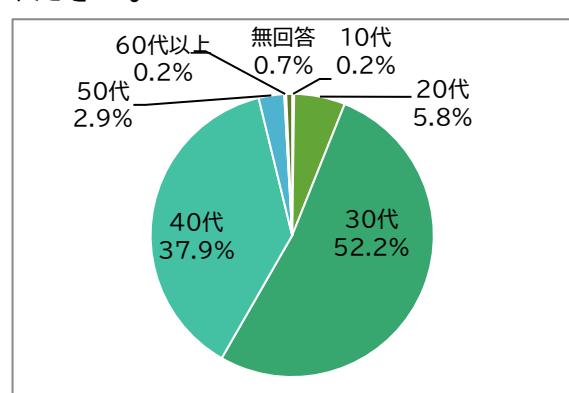
#### ①性別…設問 1 - 1 : あなたの性別を教えてください。

男性 122人 (27.4%)  
女性 312人 (70.0%)  
無回答 12人 (2.7%)



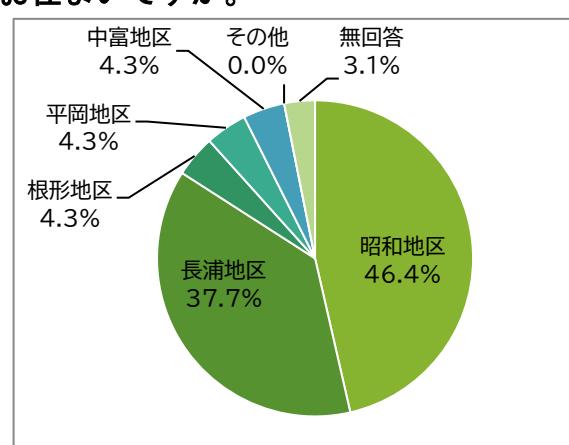
#### ②年代…設問 1 - 2 : あなたの年代を教えてください。

10代 1人 (0.2%)  
20代 26人 (5.8%)  
30代 233人 (52.2%)  
40代 169人 (37.9%)  
50代 13人 (2.9%)  
60代以上 1人 (0.2%)  
無回答 3人 (0.7%)



#### ③地区…設問 2 : あなたは、どちらの地区にお住まいですか。

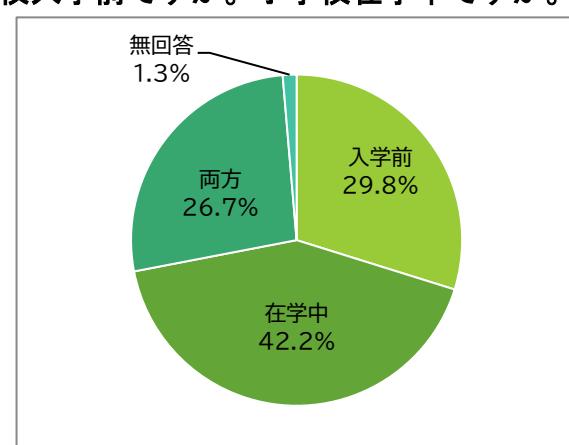
昭和地区 207人 (46.4%)  
長浦地区 168人 (37.7%)  
根形地区 19人 (4.3%)  
平岡地区 19人 (4.3%)  
中富地区 19人 (4.3%)  
その他 0人 (0.0%)  
無回答 14人 (3.1%)



#### ④子の就学状況

#### 設問 3 : あなたのお子さまは、現在、小学校入学前ですか。小学校在学中ですか。

入学前 133人 (29.8%)  
在学中 188人 (42.2%)  
両方 119人 (26.7%)  
無回答 6人 (1.3%)



## (2) 目指す姿に対する結果

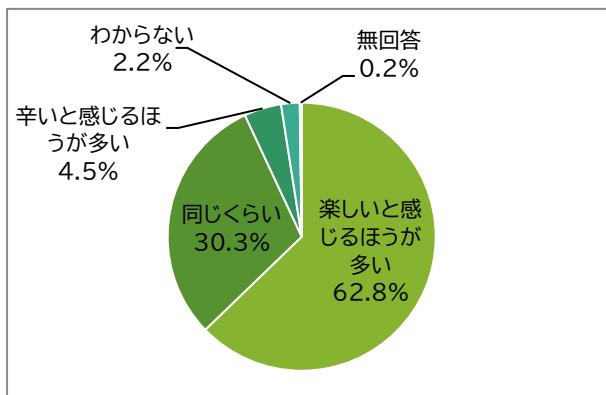
### ①基本目標1 地域における子育て支援の充実

目指す姿 保護者の育児の不安や負担が軽減され肯定感を持って子育てをしています。

設問4：あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。  
それとも辛いと感じることが多いと思いますか。

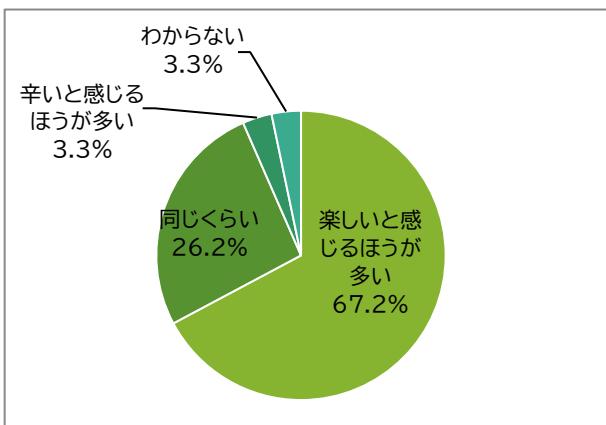
「楽しいと感じるほうが多い」の回答割合が62.8%であり、令和3年度以降、上昇傾向にある。

#### [ 全体 ]

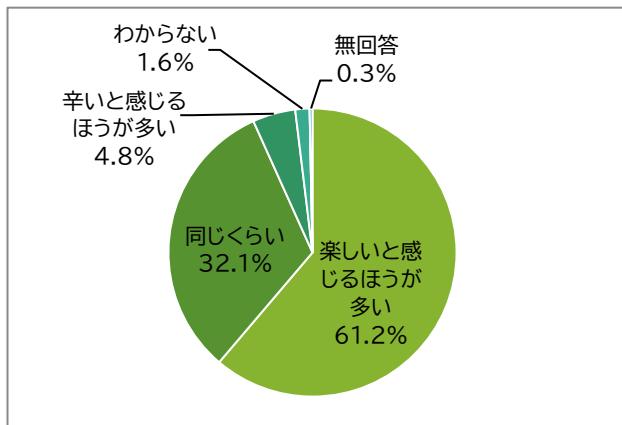


選択肢	選択者(人)	割合(%)
楽しいと感じるほうが多い	280	62.8%
同じくらい	135	30.3%
辛いと感じるほうが多い	20	4.5%
わからない	10	2.2%
計	446	100.0%

#### [ 男性 ]

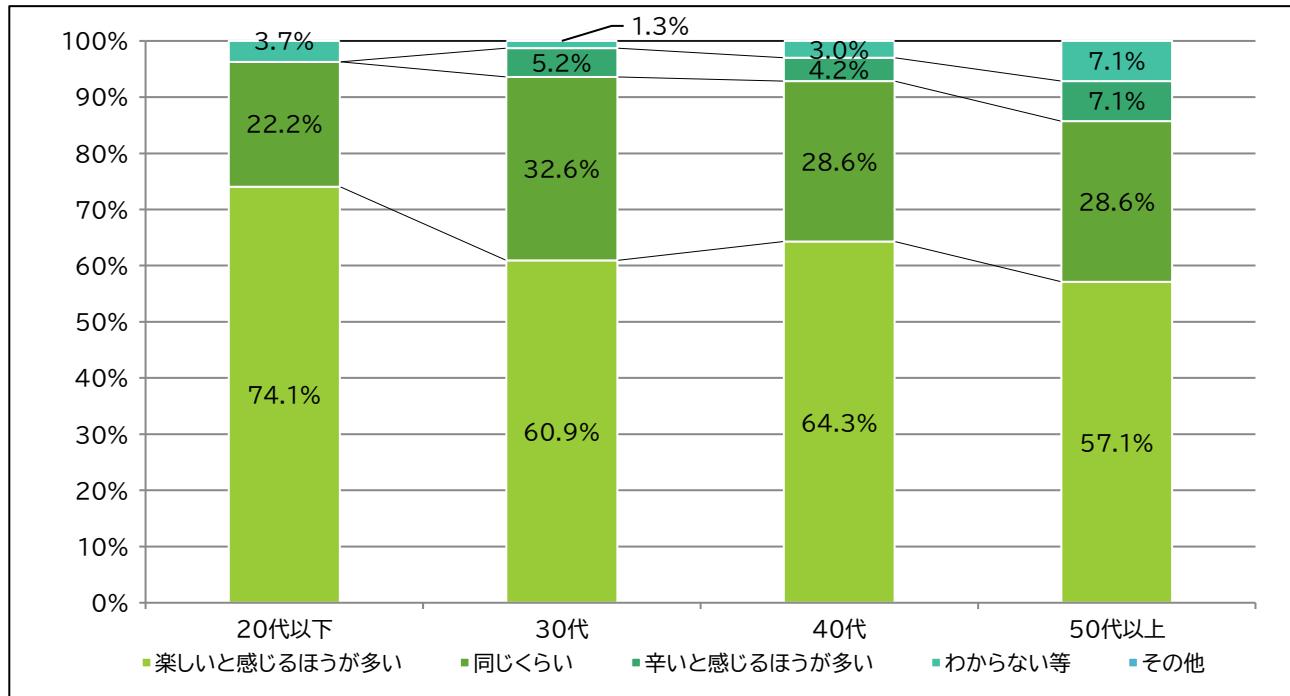


#### [ 女性 ]



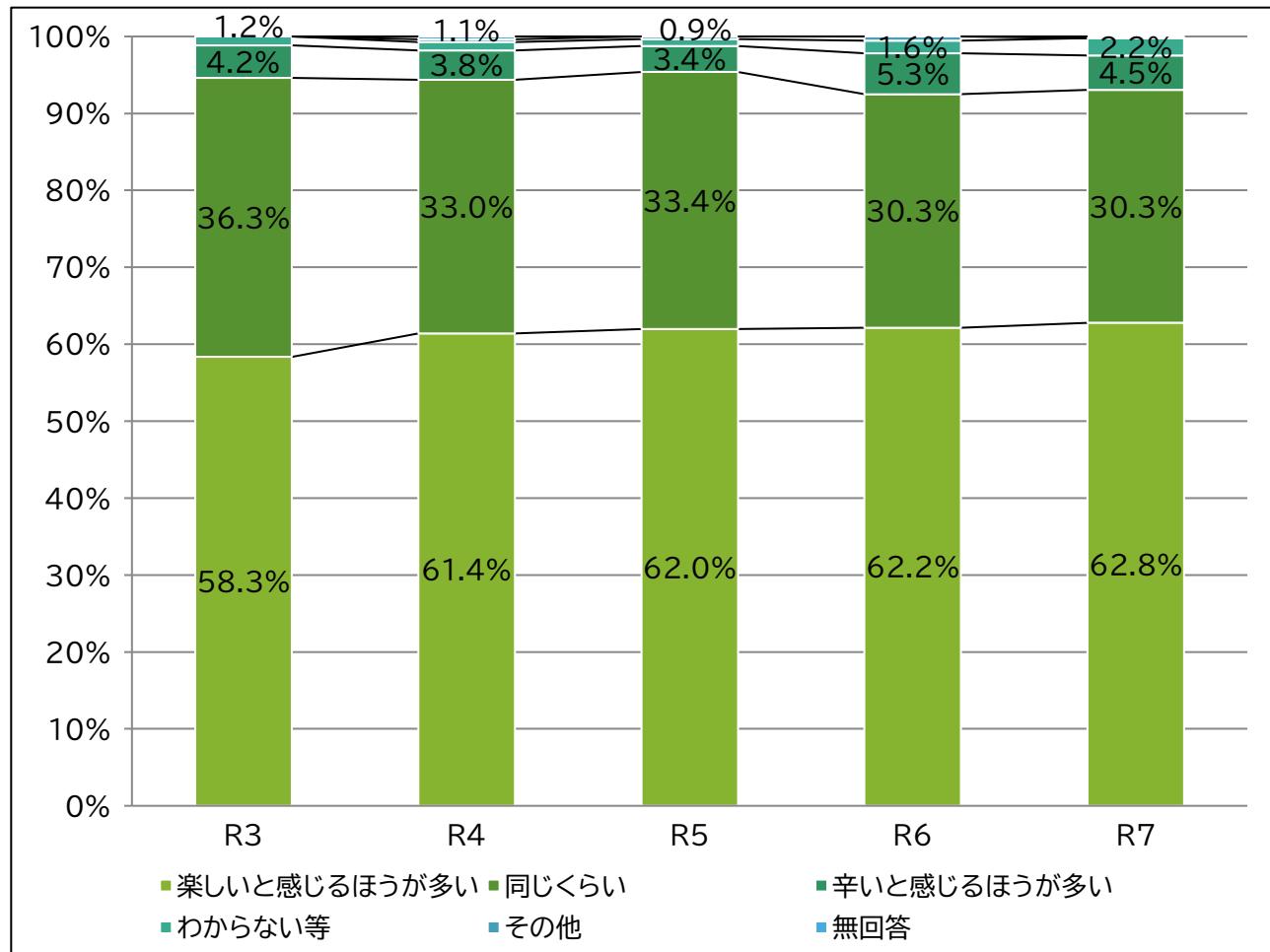
※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## [ 年代別 ]



※年代別のグラフは年代無回答者の回答を含みません

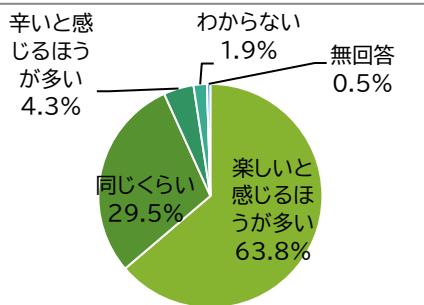
## [ 経年変化 ]



[ 地区別 ]

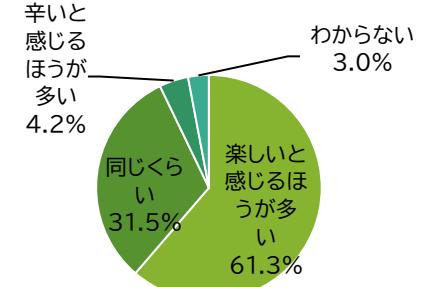
※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

昭和地区



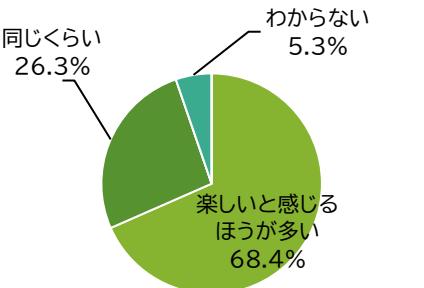
選択肢	選択者(人)	割合(%)
楽しいと感じるほうが多い	132	63.8%
同じくらい	61	29.5%
辛いと感じるほうが多い	9	4.3%
わからない	4	1.9%
無回答	1	0.5%
計	207	100.0%

長浦地区



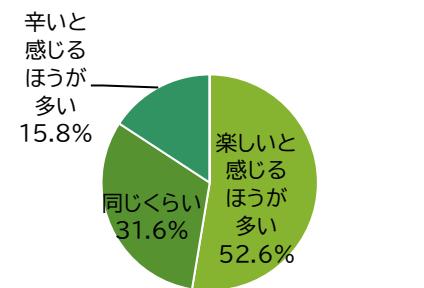
選択肢	選択者(人)	割合(%)
楽しいと感じるほうが多い	103	61.3%
同じくらい	53	31.5%
辛いと感じるほうが多い	7	4.2%
わからない	5	3.0%
計	168	100.0%

根形地区



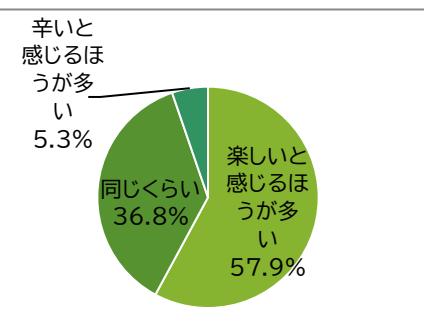
選択肢	選択者(人)	割合(%)
楽しいと感じるほうが多い	13	68.4%
同じくらい	5	26.3%
わからない	1	5.3%
計	19	100.0%

平岡地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
楽しいと感じるほうが多い	10	52.6%
同じくらい	6	31.6%
辛いと感じるほうが多い	3	15.8%
計	19	100.0%

中富地区

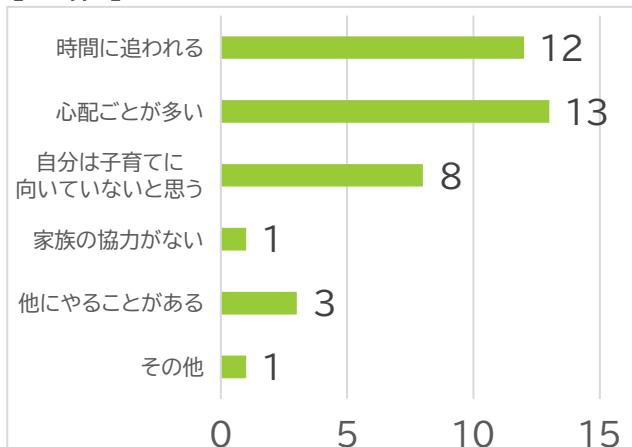


選択肢	選択者(人)	割合(%)
楽しいと感じるほうが多い	11	57.9%
同じくらい	7	36.8%
辛いと感じるほうが多い	1	5.3%
計	19	100.0%

設問4－2：上記（問4－1）で「c 辛いと感じることが多い」と回答した方はあてはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答）

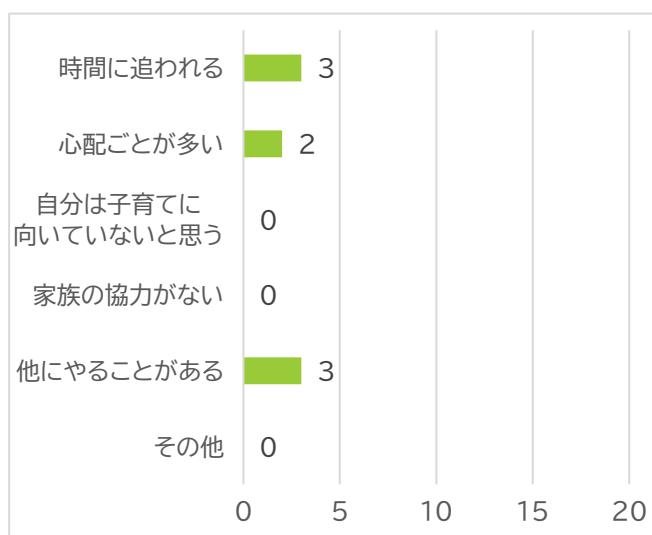
子育てが辛いと感じる理由について、「時間に追われる」の回答割合は31.6%となっており、令和6年度と比べて約8%増加している。

### [ 全体 ]

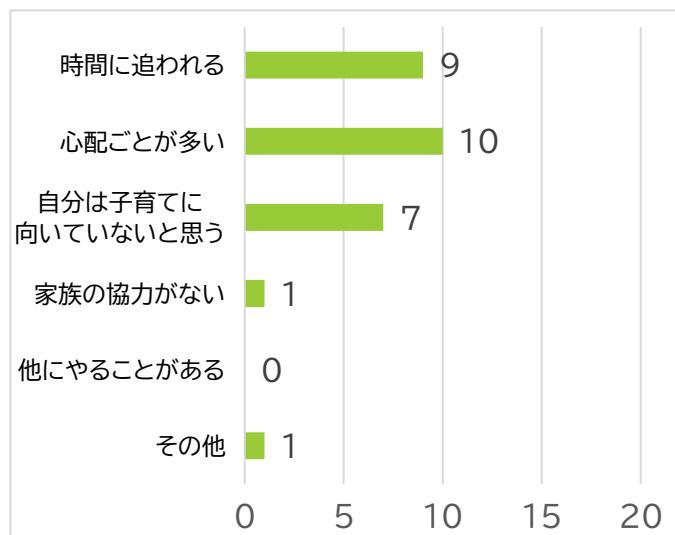


選択肢	選択者(人)	割合(%)
※「辛いと感じる」回答人数	※20	
時間に追われる	12	31.6%
心配ごとが多い	13	34.2%
自分は子育てに向いていないと思う	8	21.1%
家族の協力がない	1	2.6%
他にやることがある	3	7.9%
その他	1	2.6%

### [ 男性 ]

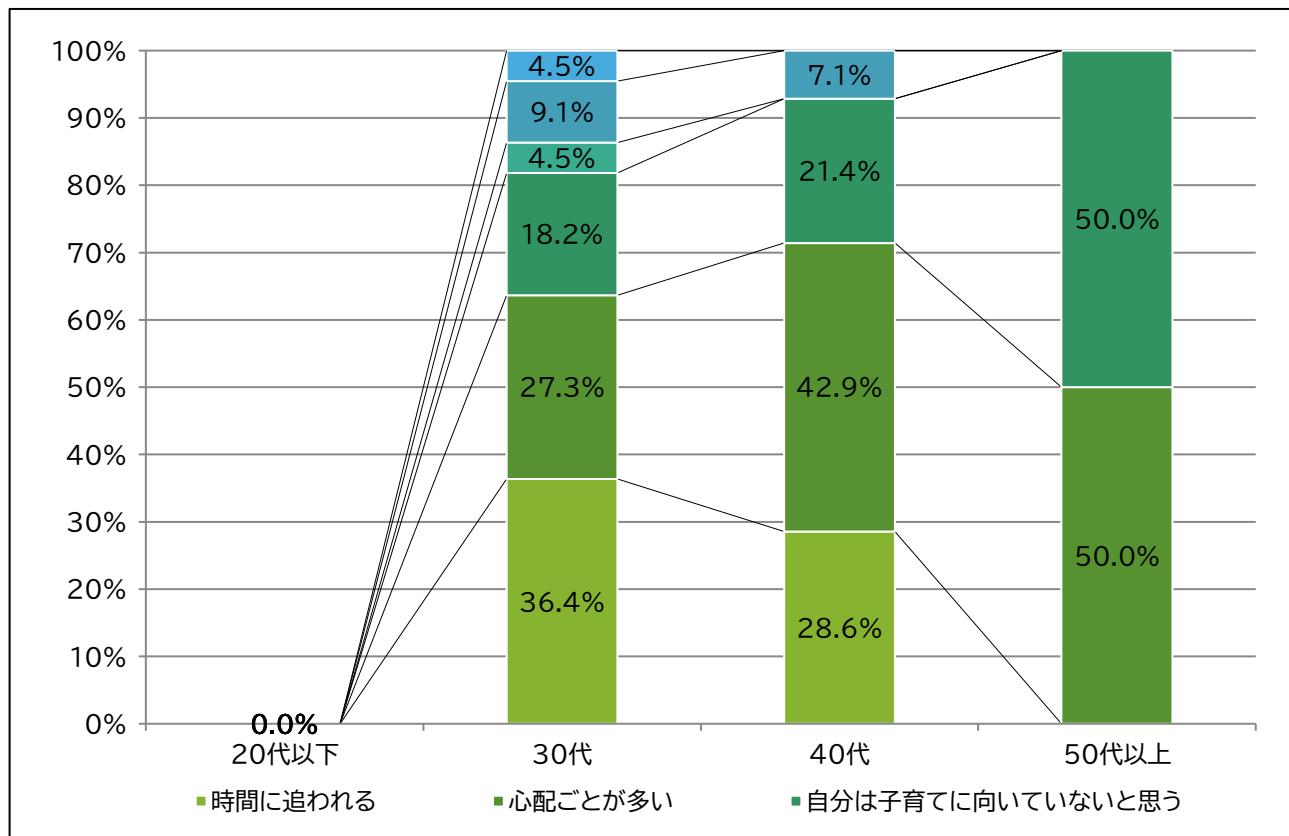


### [ 女性 ]



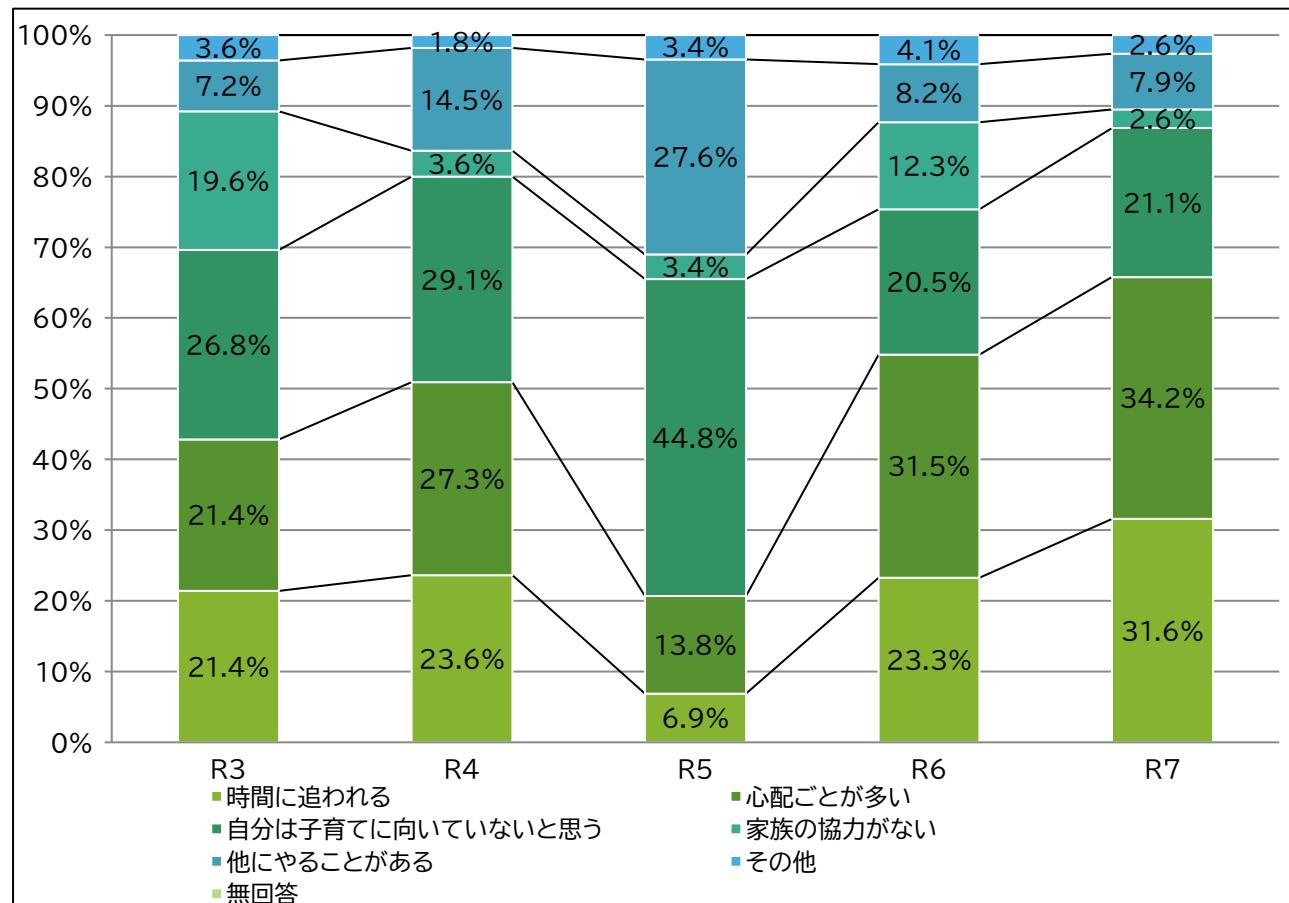
※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## [ 年代別 ]



※年代別のグラフは年代無回答者の回答を含みません

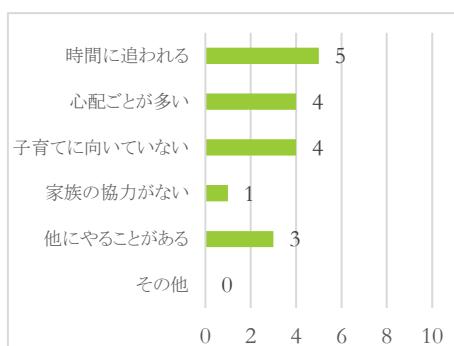
## [ 経年変化 ]



## [ 地区別 ]

※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

昭和地区



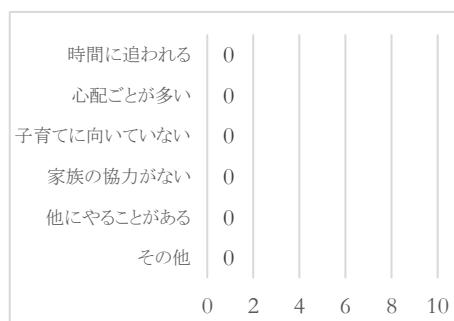
選択肢	選択者(人)	割合(%)
時間に追われる	5	29.4%
心配ごとが多い	4	23.5%
自分は子育てに向いていないと思う	4	23.5%
家族の協力がない	1	5.9%
他にやることがある	3	17.6%
計	17	100.0%

長浦地区



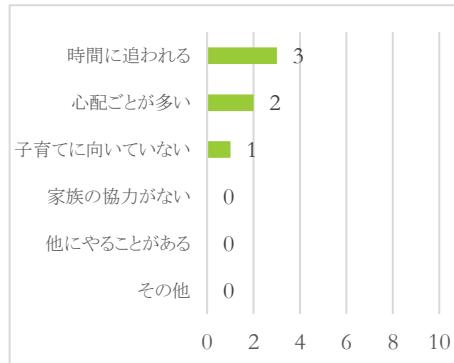
選択肢	選択者(人)	割合(%)
時間に追われる	4	30.8%
心配ごとが多い	6	46.2%
自分は子育てに向いていないと思う	2	15.4%
その他	1	7.7%
計	13	100.0%

根形地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
計	0	0.0%

平岡地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
時間に追われる	3	50.0%
心配ごとが多い	2	33.3%
自分は子育てに向いていないと思う	1	16.7%
計	6	100.0%

中富地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
心配ごとが多い	1	50.0%
自分は子育てに向いていないと思う	1	50.0%
計	2	100.0%

## ①基本目標 1 地域における子育て支援

目指す姿 子育てが地域の人に支えられ、孤立感や子育てに対する不安が解消しています。

設問5：あなたは、子育てについて、気軽に相談できる人がいますか。

子育てについて相談できる人が「いる」と回答した方は約9割で推移している。  
なお、「いない」の回答割合は、男性が女性と比べて高い。

[ 全体 ]

いない  
9.6%

無回答  
0.9%

いる  
89.5%

選択肢	選択者(人)	割合(%)
いる	399	89.5%
いない	43	9.6%
無回答	4	0.9%
計	446	100.0%

[ 男性 ]

無回答  
1.6%

いない  
19.7%

いる  
78.7%

[ 女性 ]

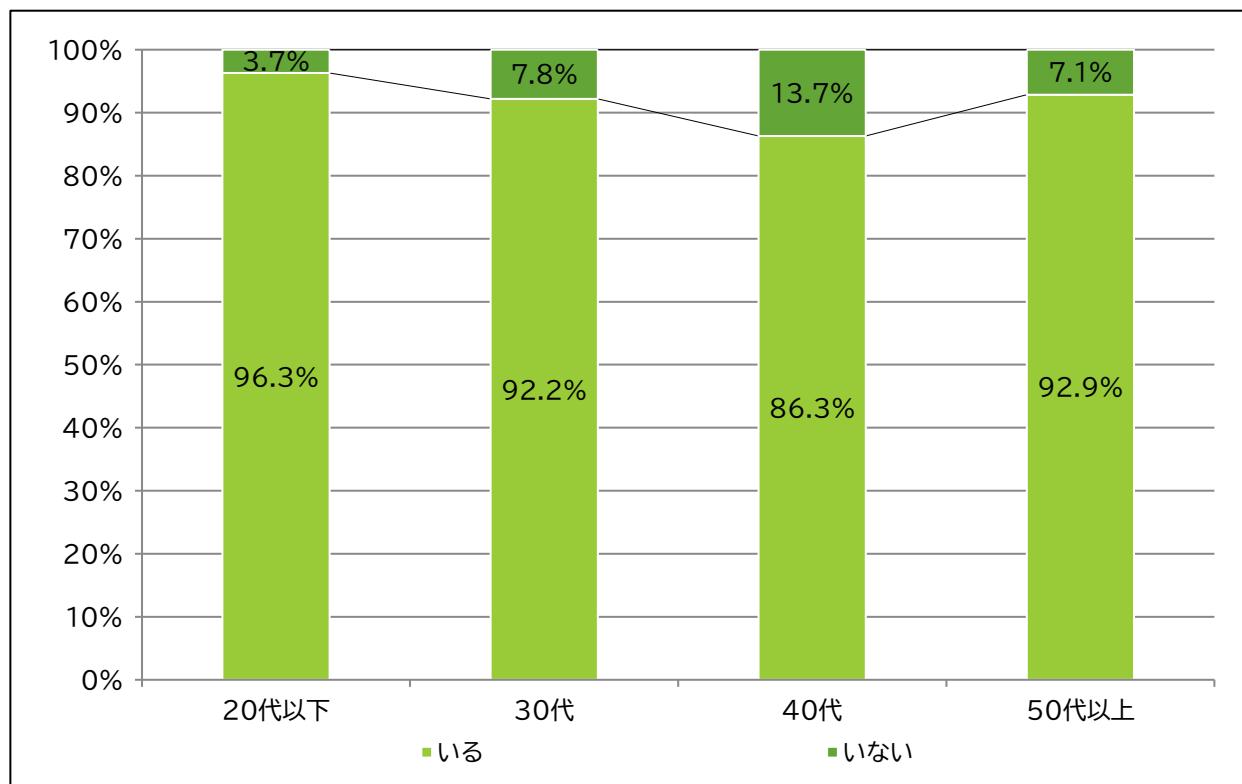
無い  
6.1%

無回答  
0.6%

いる  
93.3%

※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## [ 年代別 ]



※年代別のグラフは年代無回答者の回答を含みません

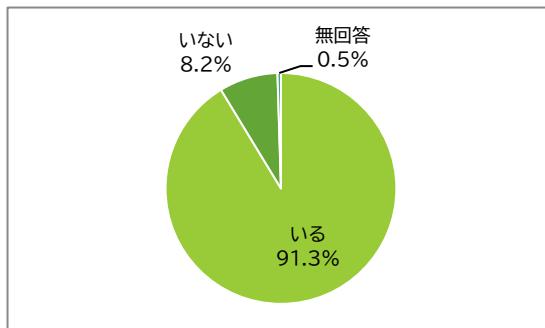
## [ 経年変化 ]



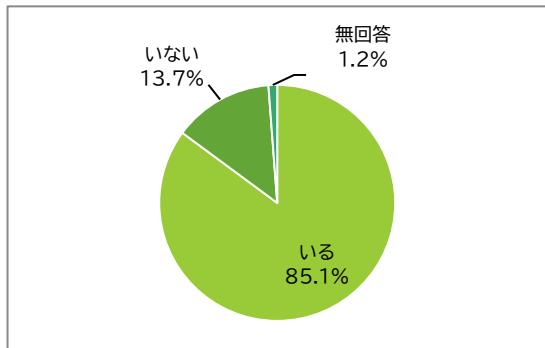
## [ 地区別 ]

※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

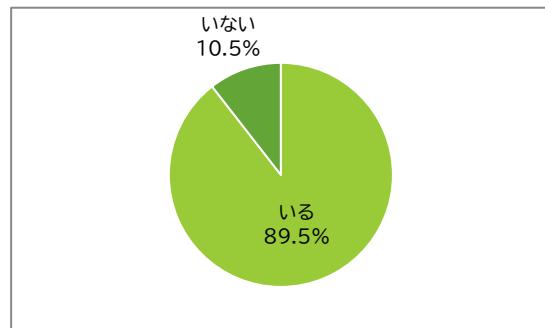
昭和地区



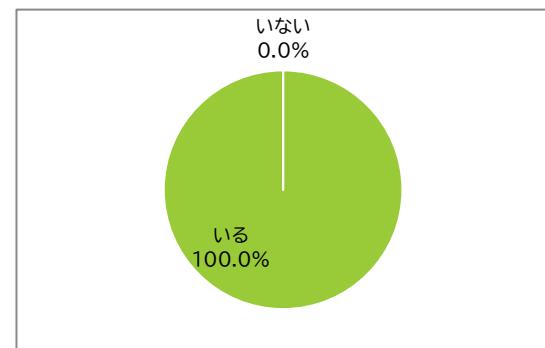
長浦地区



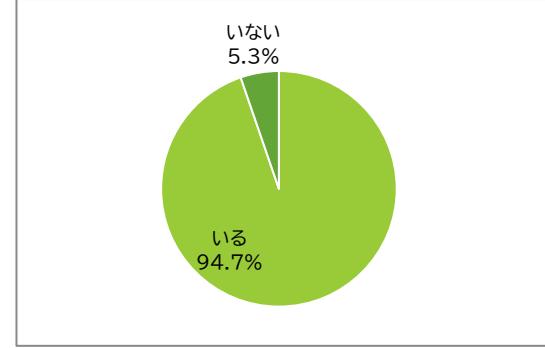
根形地区



平岡地区



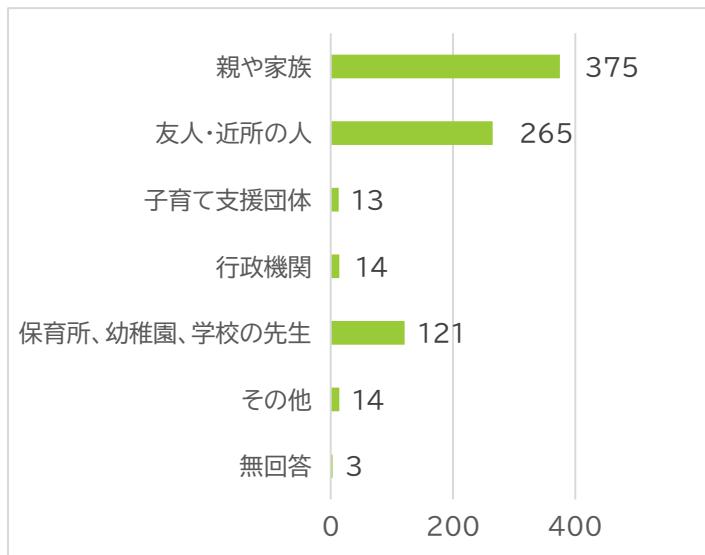
中富地区



設問5－2：「a いる」と回答した方は、あてはまるものすべてに○をつけてください。  
(複数回答)

気軽に相談できる方の相手として、「親や家族」、「友人・近所の人」、「保育所、幼稚園、学校の先生」の順で多く見られ男女別、地区別、年代別では大きな差異は見られない。

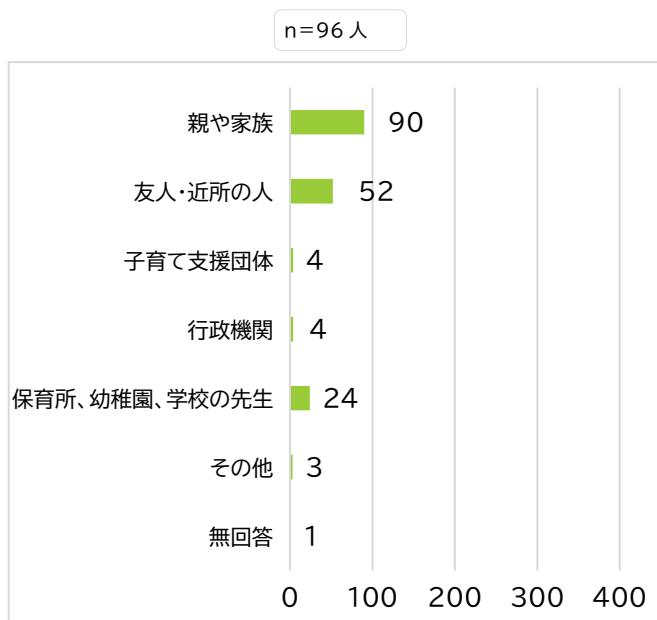
### [ 全体 ]



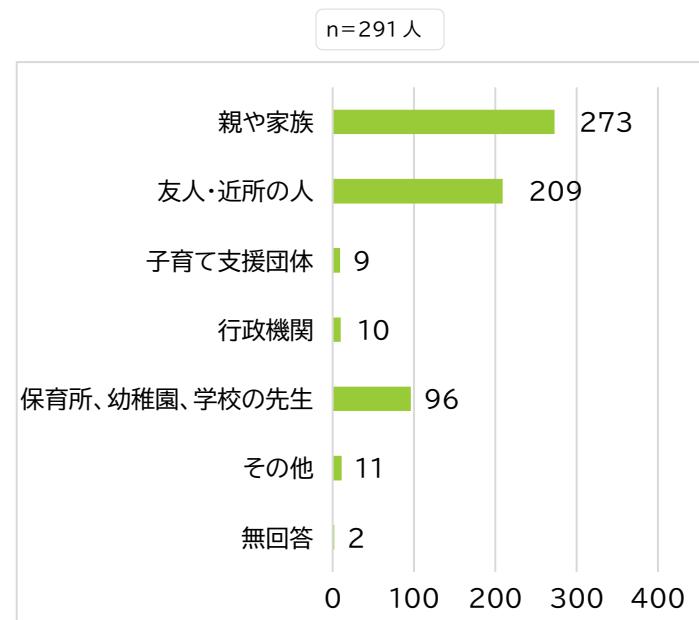
選択肢	選択者(人)	割合(%)
親や家族	375	75.6%
友人・近所の人	265	53.4%
子育て支援団体	13	2.6%
行政機関	14	2.8%
保育所、幼稚園、学校の先生	121	24.4%
その他	14	2.8%
無回答	3	0.6%
回答人数	496	

※回答人数に対する項目ごとの割合を示しています

### [ 男性 ]



### [ 女性 ]



※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

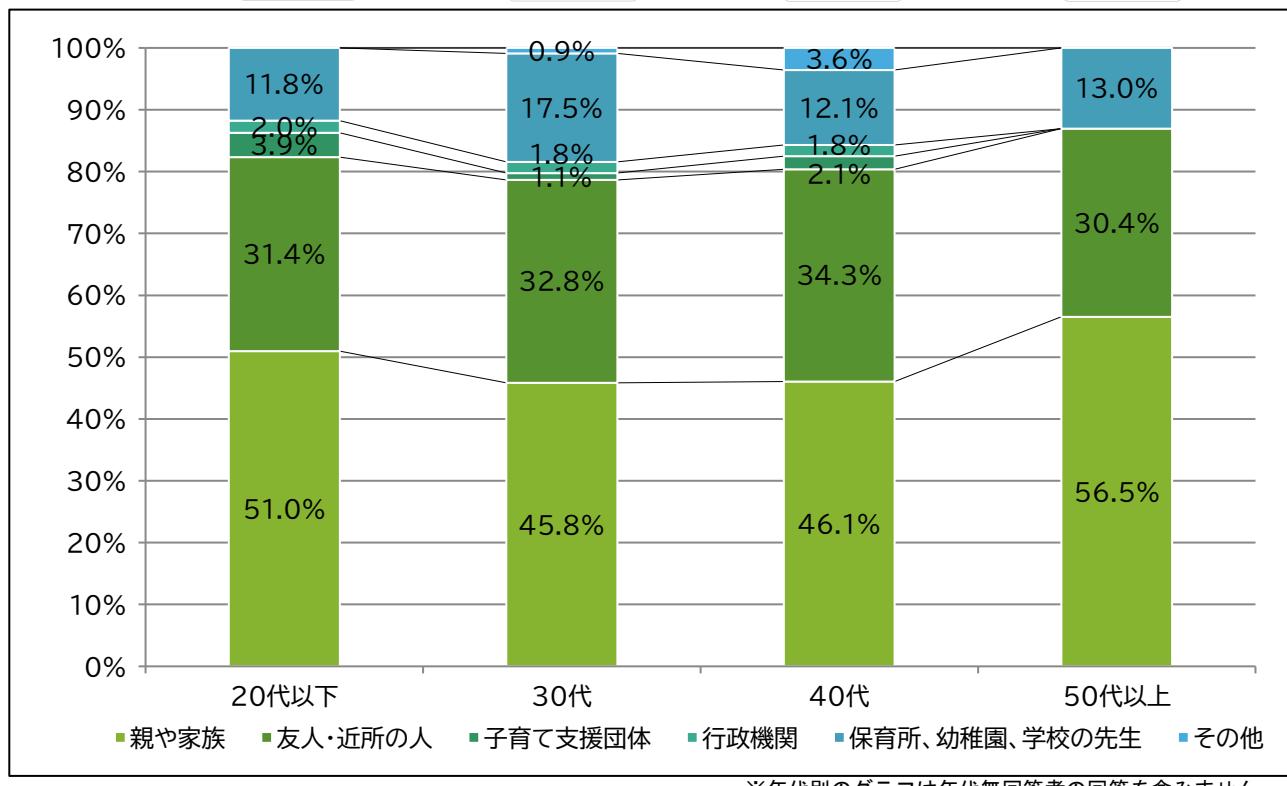
[ 年代別 ]

n=27人

n=230人

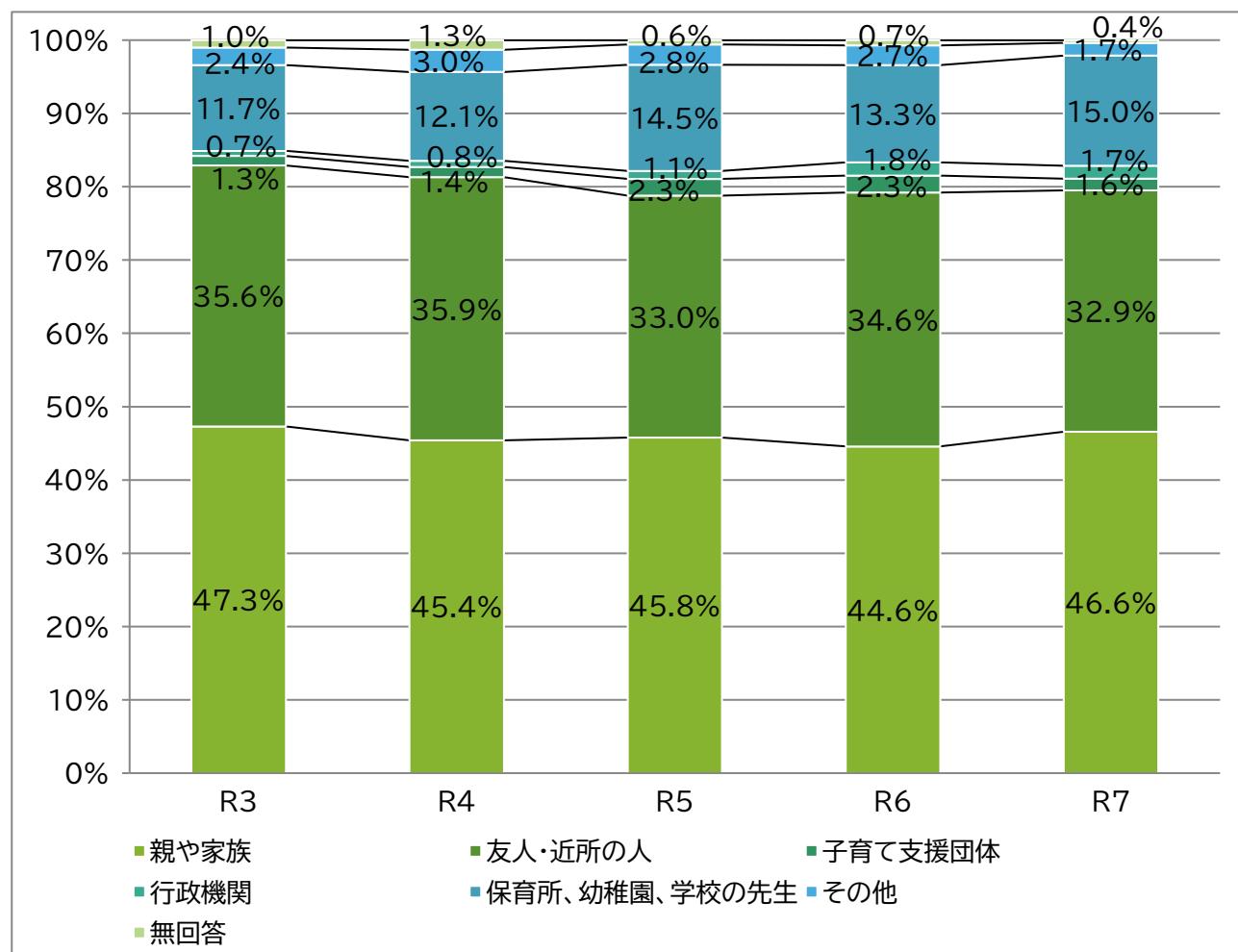
n=168人

n=14人



※年代別のグラフは年代無回答者の回答を含みません

[ 経年変化 ]



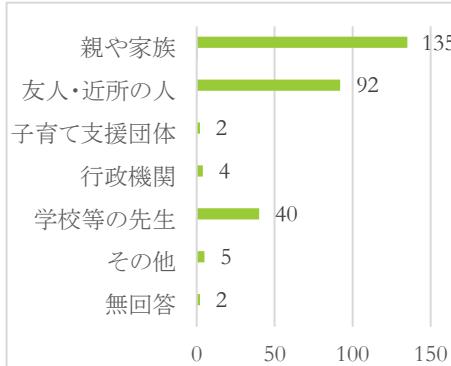
[ 地区別 ]      ※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

昭和地区



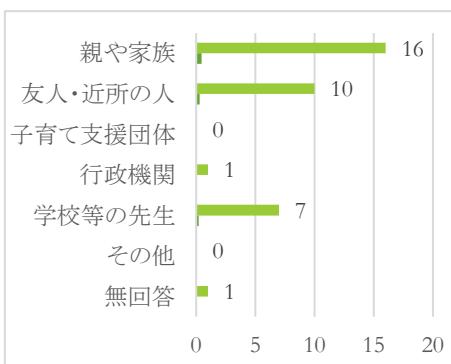
選択肢	選択者(人)	割合(%)
親や家族	179	45.5%
友人・近所の人	128	32.6%
子育て支援団体	9	2.3%
行政機関	8	2.0%
保育所、幼稚園、学校の先生	62	15.8%
その他	7	1.8%
計	393	100.0%

長浦地区



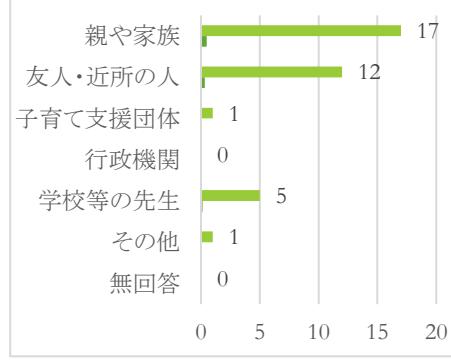
選択肢	選択者(人)	割合(%)
親や家族	135	48.2%
友人・近所の人	92	32.9%
子育て支援団体	2	0.7%
行政機関	4	1.4%
保育所、幼稚園、学校の先生	40	14.3%
その他	5	1.8%
無回答	2	0.7%
計	280	100.0%

根形地区



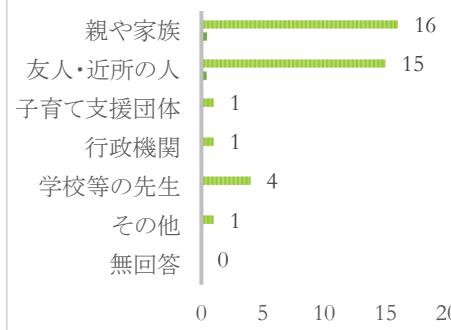
選択肢	選択者(人)	割合(%)
親や家族	16	45.7%
友人・近所の人	10	28.6%
行政機関	1	2.9%
保育所、幼稚園、学校の先生	7	20.0%
無回答	1	2.9%
計	35	100.0%

平岡地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
親や家族	17	47.2%
友人・近所の人	12	33.3%
子育て支援団体	1	2.8%
保育所、幼稚園、学校の先生	5	13.9%
その他	1	2.8%
計	36	100.0%

中富地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
親や家族	16	42.1%
友人・近所の人	15	39.5%
子育て支援団体	1	2.6%
行政機関	1	2.6%
保育所、幼稚園、学校の先生	4	10.5%
その他	1	2.6%
計	38	100.0%

## ①基本目標 1 地域における子育ての支援

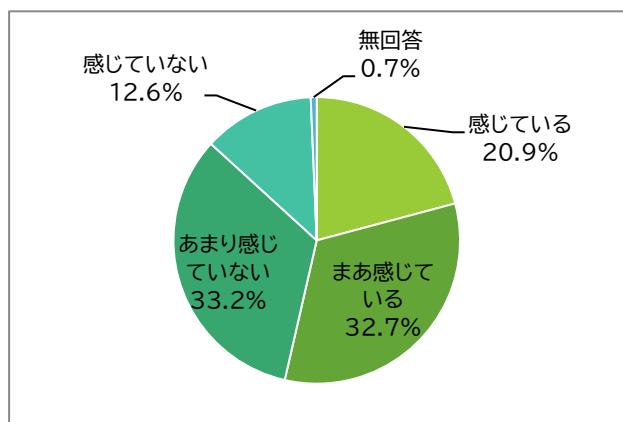
目指す姿 子育てが地域の人に支えられ、孤立感や子育てに対する不安が解消しています。

設問6：あなたは、お子さまが、幼稚園や保育所、学校での生活以外で、こども同士の交流、他の世代との交流ができる機会、場所を持てていると感じていますか。

「感じている」「まあ感じている」を合わせた回答割合は53.6%、「あまり感じていない」「感じていない」を合わせた回答割合は45.8%であり、令和4年度以降は増加傾向にあつた前者の割合が減少し、後者の割合が増加した。

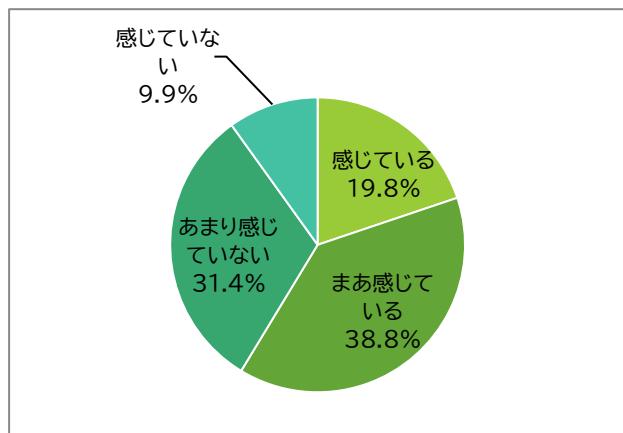
また、「感じていない」の割合は、年齢が低い年代ほど高くなっている。

### [ 全体 ]

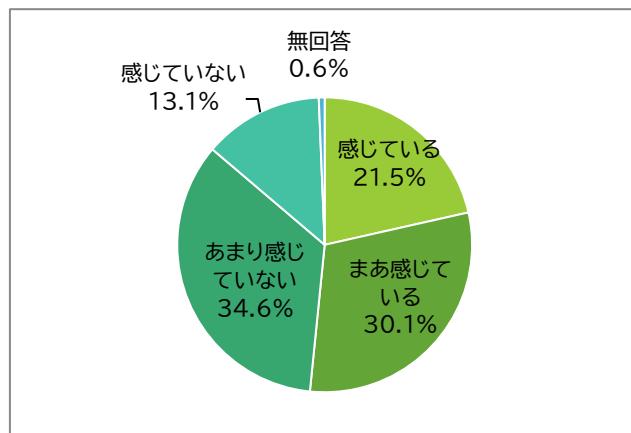


選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	93	20.9%
まあ感じている	146	32.7%
あまり感じていない	148	33.2%
感じていない	56	12.6%
無回答	3	0.7%
計	446	100.0%

### [ 男性 ]

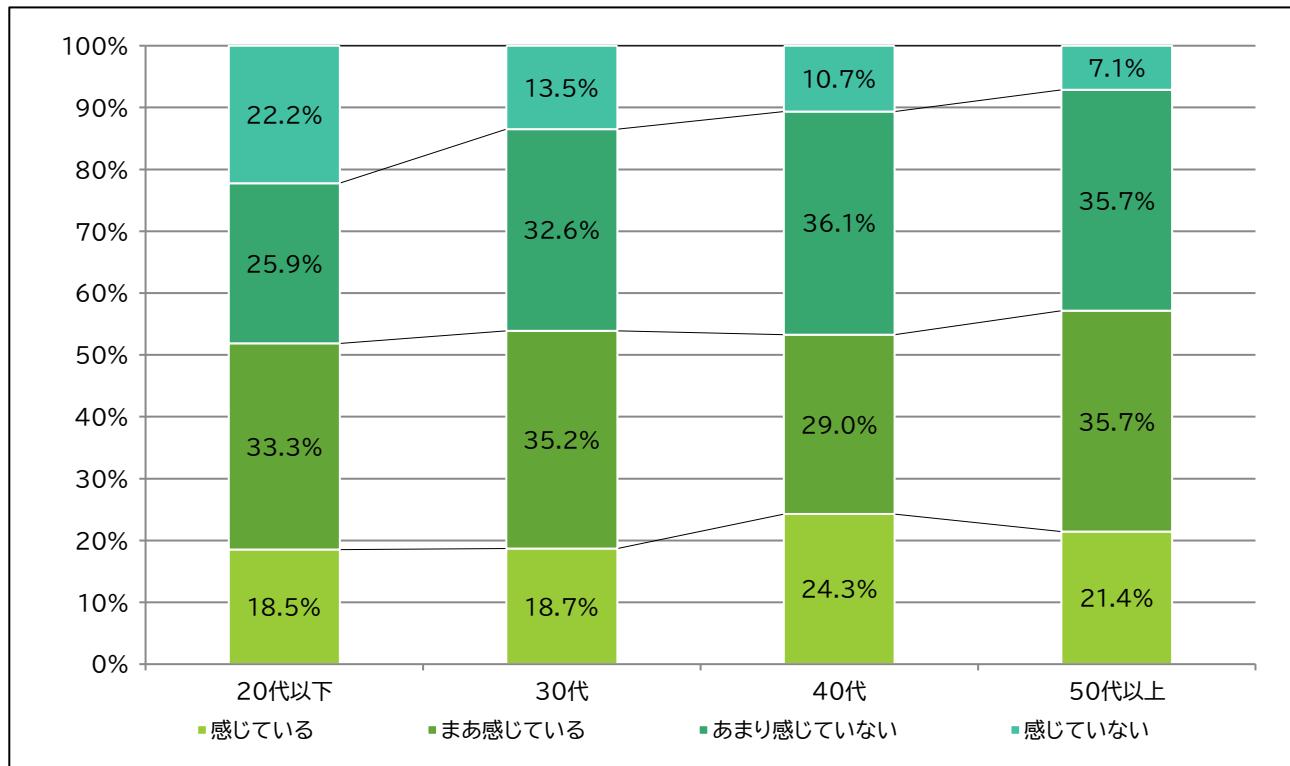


### [ 女性 ]



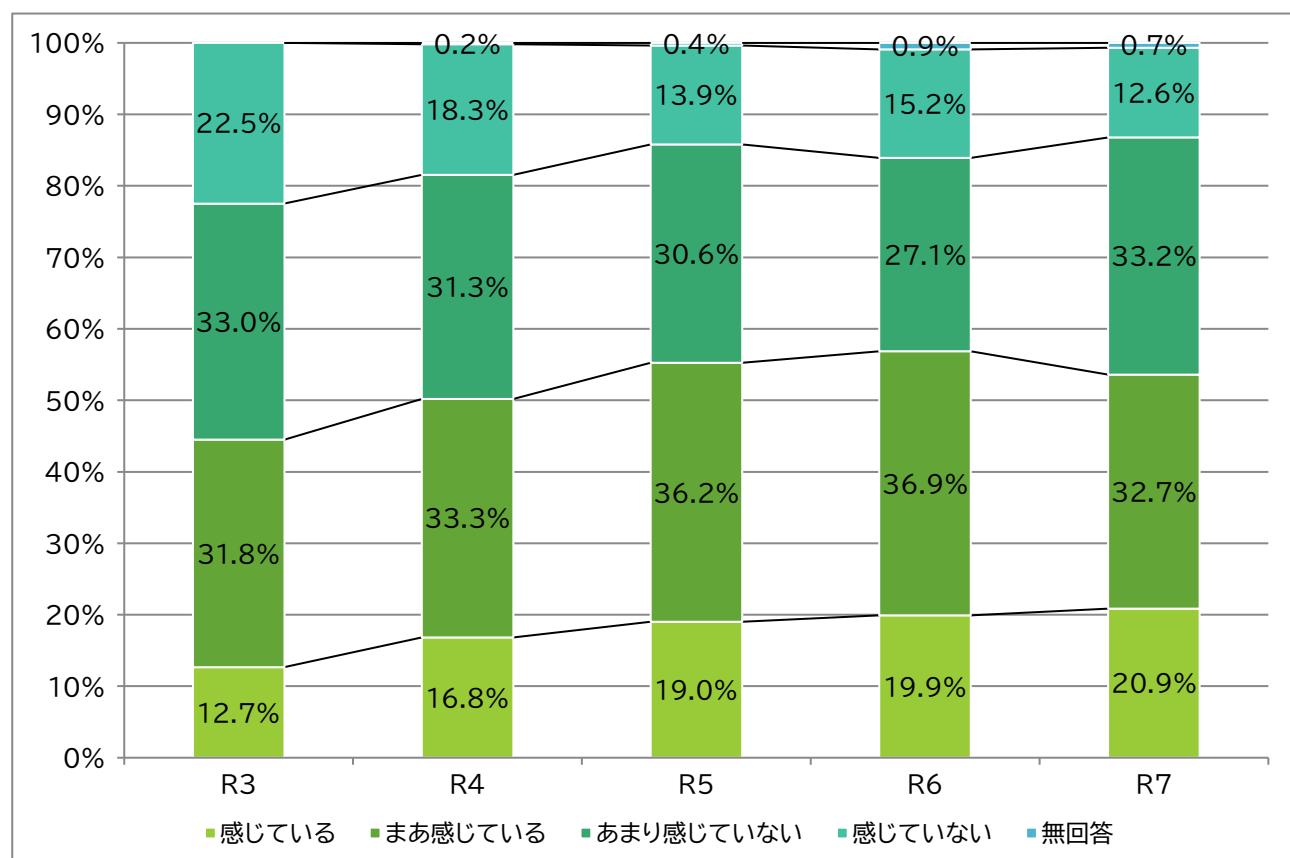
※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## [年代別]



※年代別のグラフは年代無回答者の回答を含みません

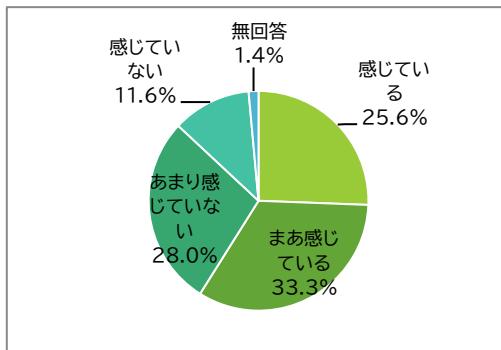
## [経年変化]



[ 地区別 ]

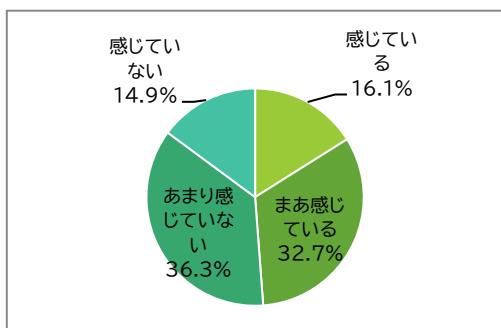
※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

昭和地区



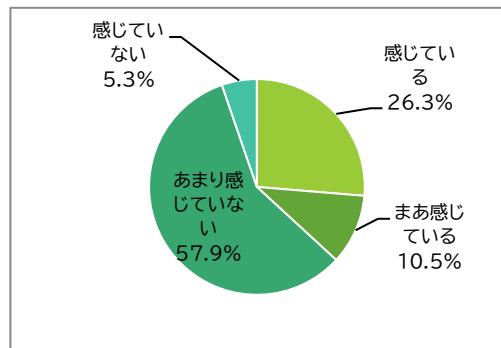
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じているる	53	25.6%
まあ感じている	69	33.3%
あまり感じていない	58	28.0%
感じていない	24	11.6%
無回答	3	1.4%
計	207	100.0%

長浦地区



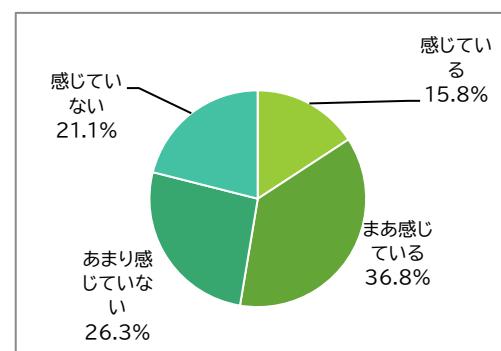
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じているる	27	16.1%
まあ感じている	55	32.7%
あまり感じていない	61	36.3%
感じていない	25	14.9%
計	168	100.0%

根形地区



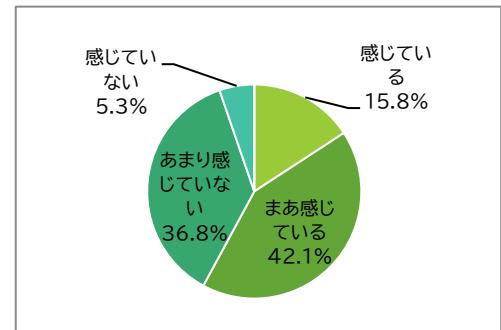
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じているる	5	26.3%
まあ感じている	2	10.5%
あまり感じていない	11	57.9%
感じていない	1	5.3%
計	19	100.0%

平岡地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じているる	3	15.8%
まあ感じている	7	36.8%
あまり感じていない	5	26.3%
感じていない	4	21.1%
計	19	100.0%

中富地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じているる	3	15.8%
まあ感じている	8	42.1%
あまり感じていない	7	36.8%
感じていない	1	5.3%
計	19	100.0%

## ②基本目標2 母性並びに乳幼児等の健康づくりの推進

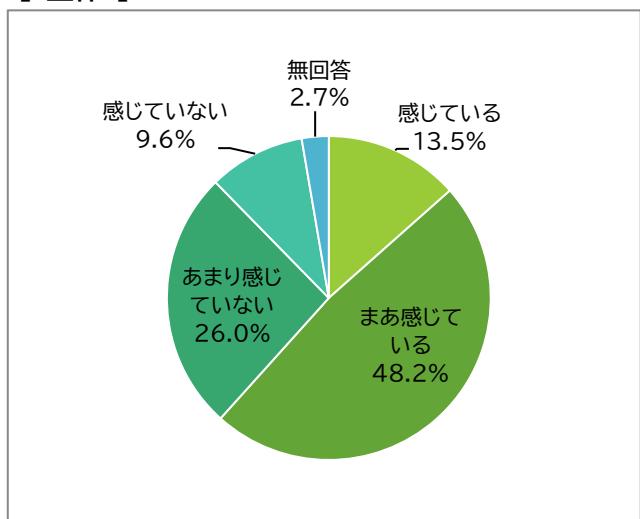
目指す姿 妊娠期からの切れ目ない支援により、妊娠期間を健やかに過ごすとともに、安心して出産に臨み、子育てすることができます。

設問7：お子さまの妊娠中や出産時、出産後の経過を振りかえって子どもを生み育てやすいと感じていますか。

「感じている」、「まあ感じている」を合わせた回答割合が61.7%であり、令和4年度以降、同様の水準で推移している。

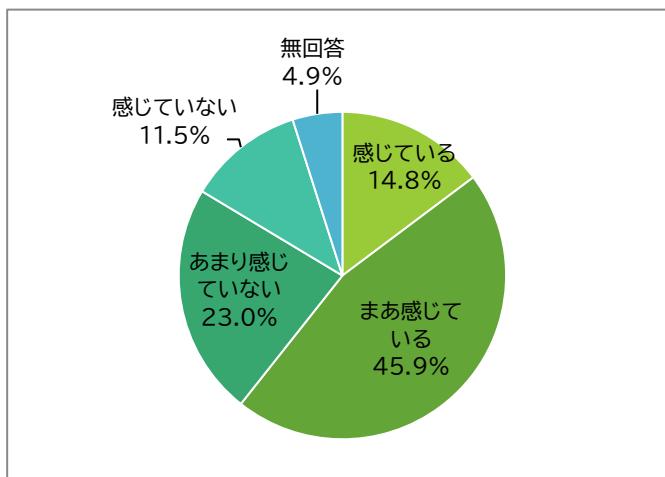
また、50代以上の「感じている」と回答した者の割合が28.6%であり、他の年代と比較し高くなっている。

[ 全体 ]

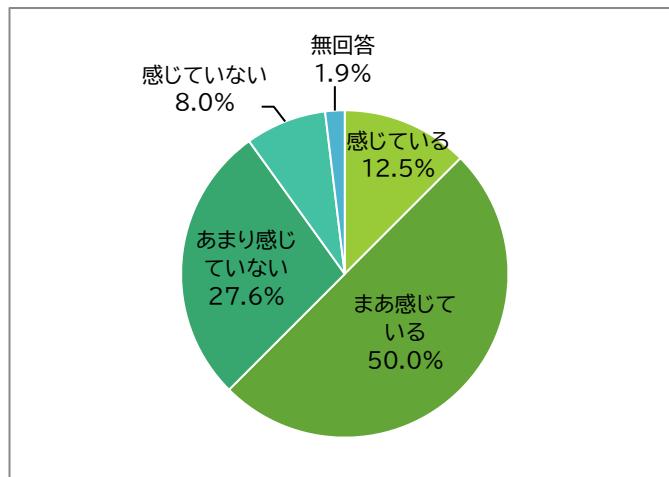


選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	60	13.5%
まあ感じている	215	48.2%
あまり感じていない	116	26.0%
感じていない	43	9.6%
無回答	12	2.7%
計	446	100%

[ 男性 ]

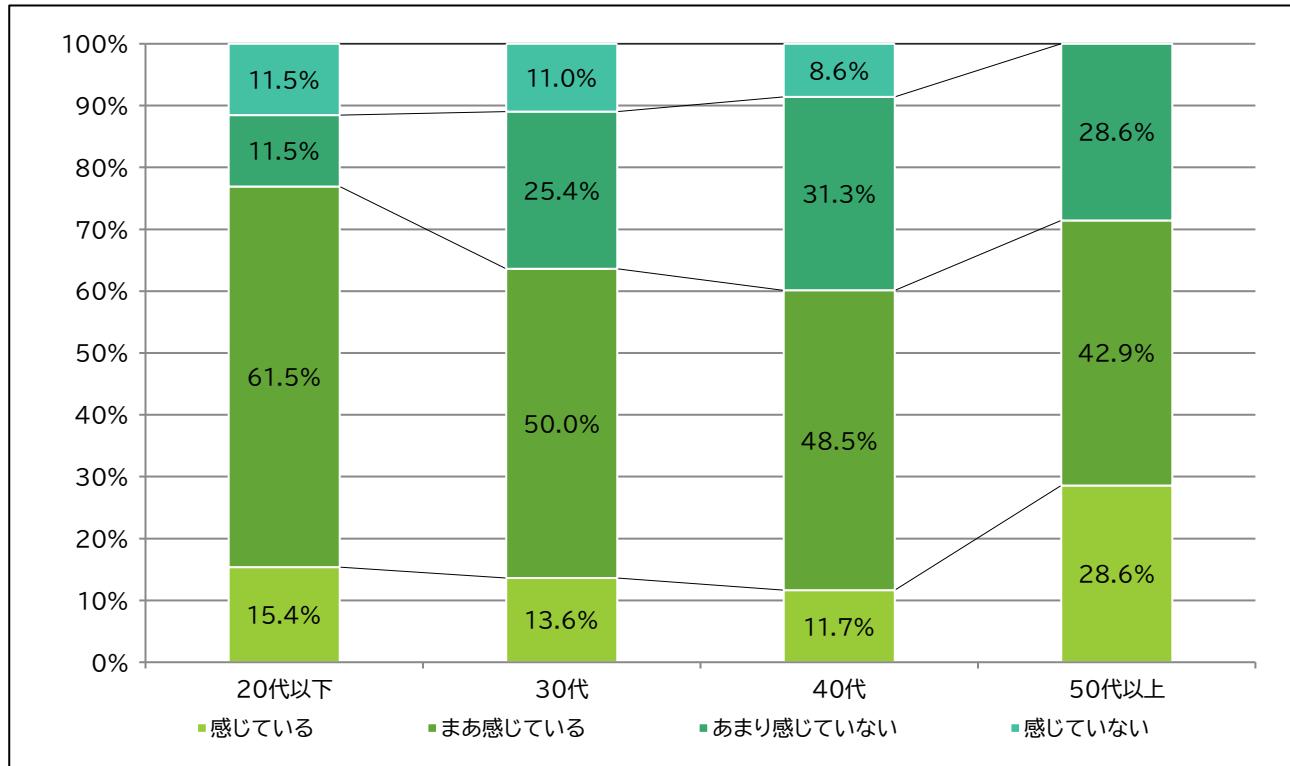


[ 女性 ]

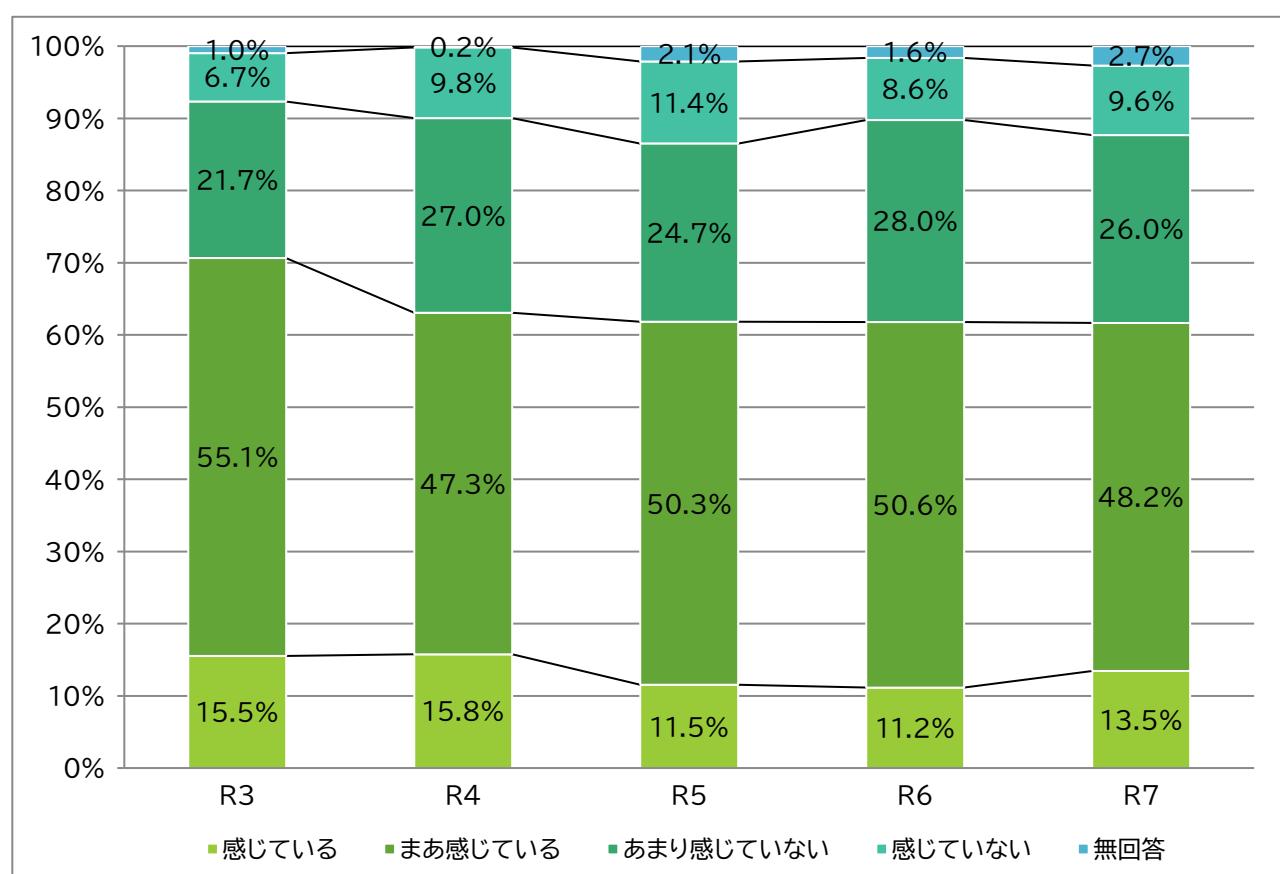


※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## [ 年代別 ]

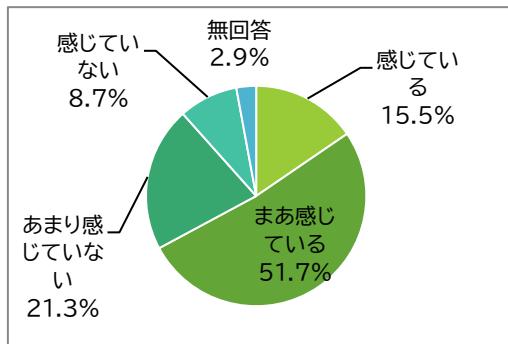


## [ 経年変化 ]

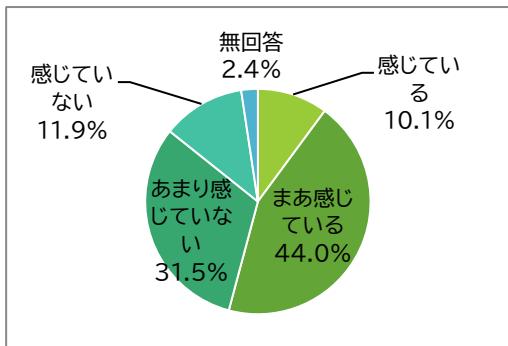


[ 地区別 ] ※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

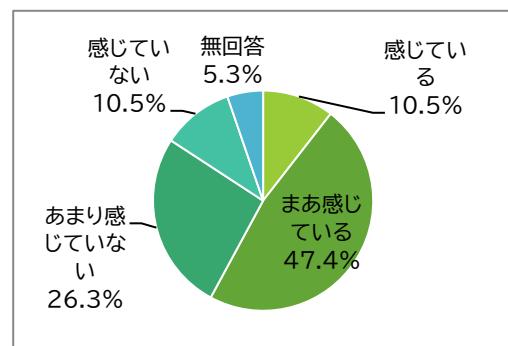
昭和地区



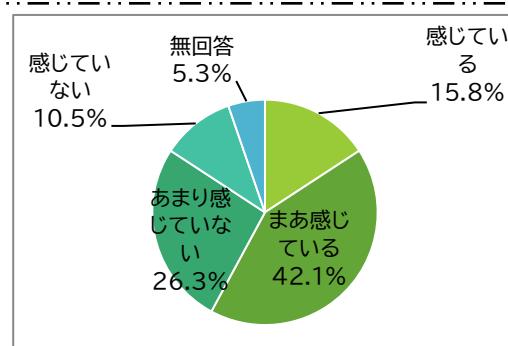
長浦地区



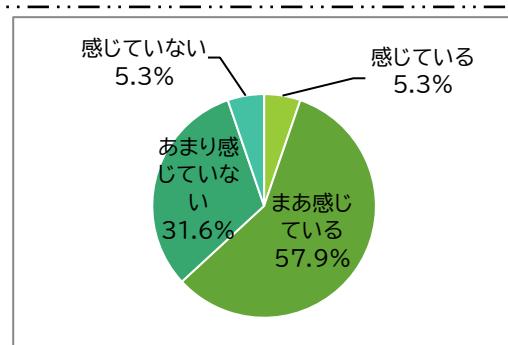
根形地区



平岡地区



中富地区



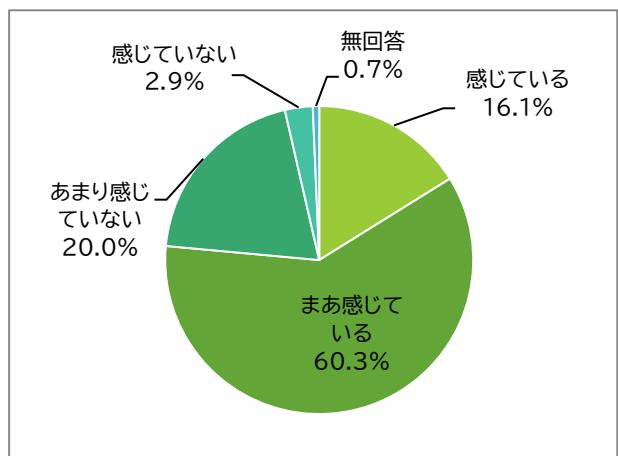
## ②基本目標2 母性並びに乳幼児等の健康づくりの推進

目指す姿 幼児期からの食育に対する意識づけと主体的な取組みの実践により、食を通じて健全な体と豊かな心を育んでいます。

設問8：あなたは、お子さまが、健康的な食生活を身につけていると感じていますか。

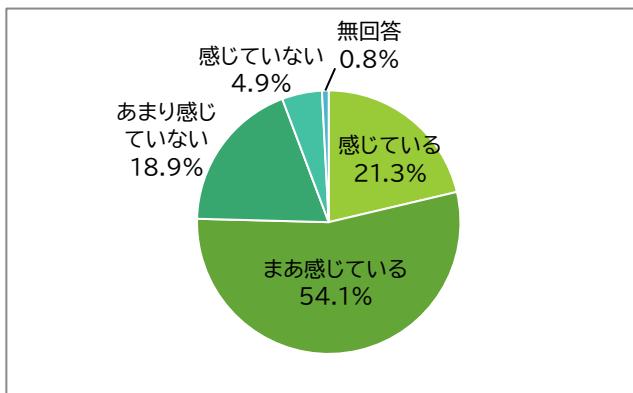
「感じている」「まあ感じている」を合わせた回答割合が76.4%、「あまり感じていない」「感じていない」を合わせた回答割合が22.9%であり、過去5年間での変化はあまり見られない。

[ 全体 ]

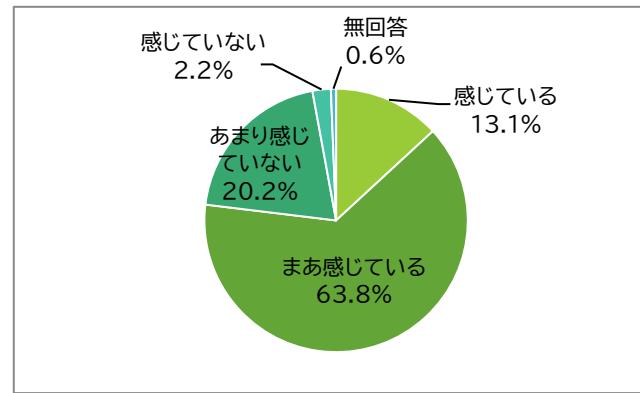


選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	72	16.1%
まあ感じている	269	60.3%
あまり感じていない	89	20.0%
感じていない	13	2.9%
無回答	3	0.7%
計	446	100.0%

[ 男性 ]

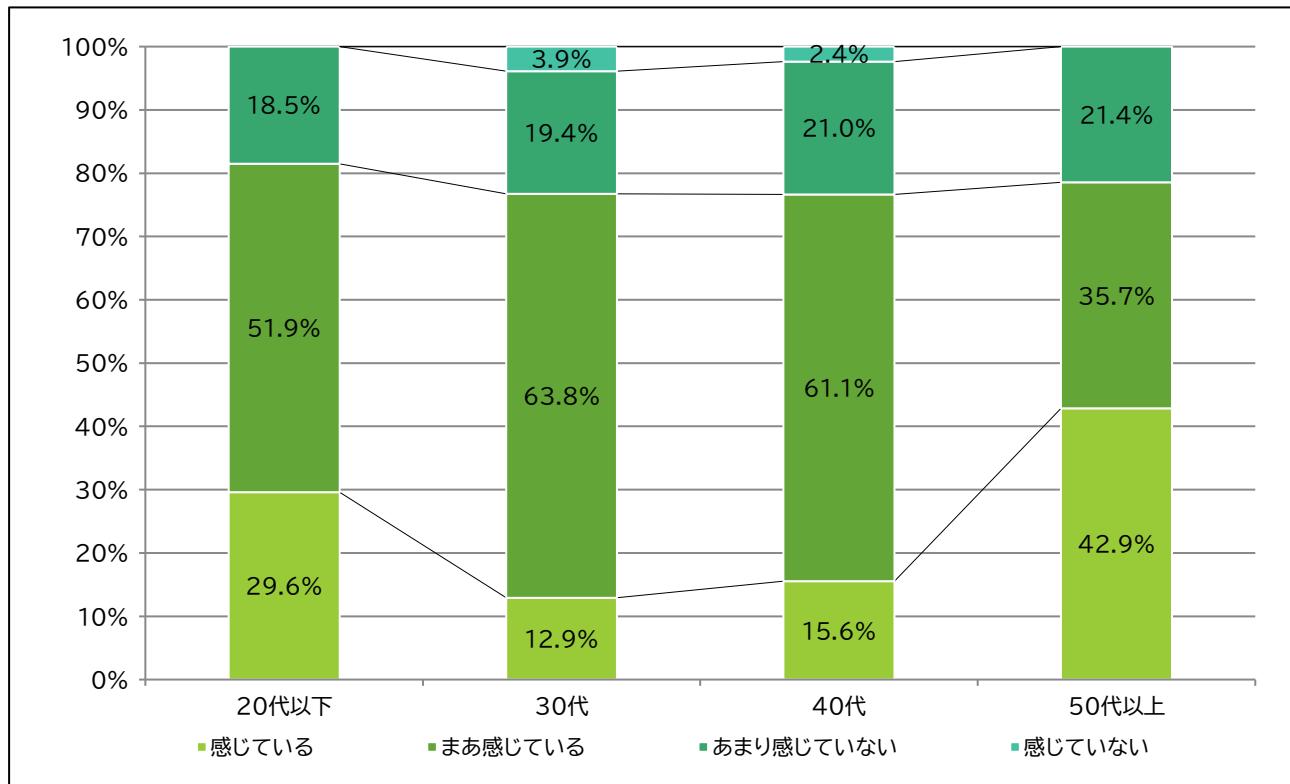


[ 女性 ]



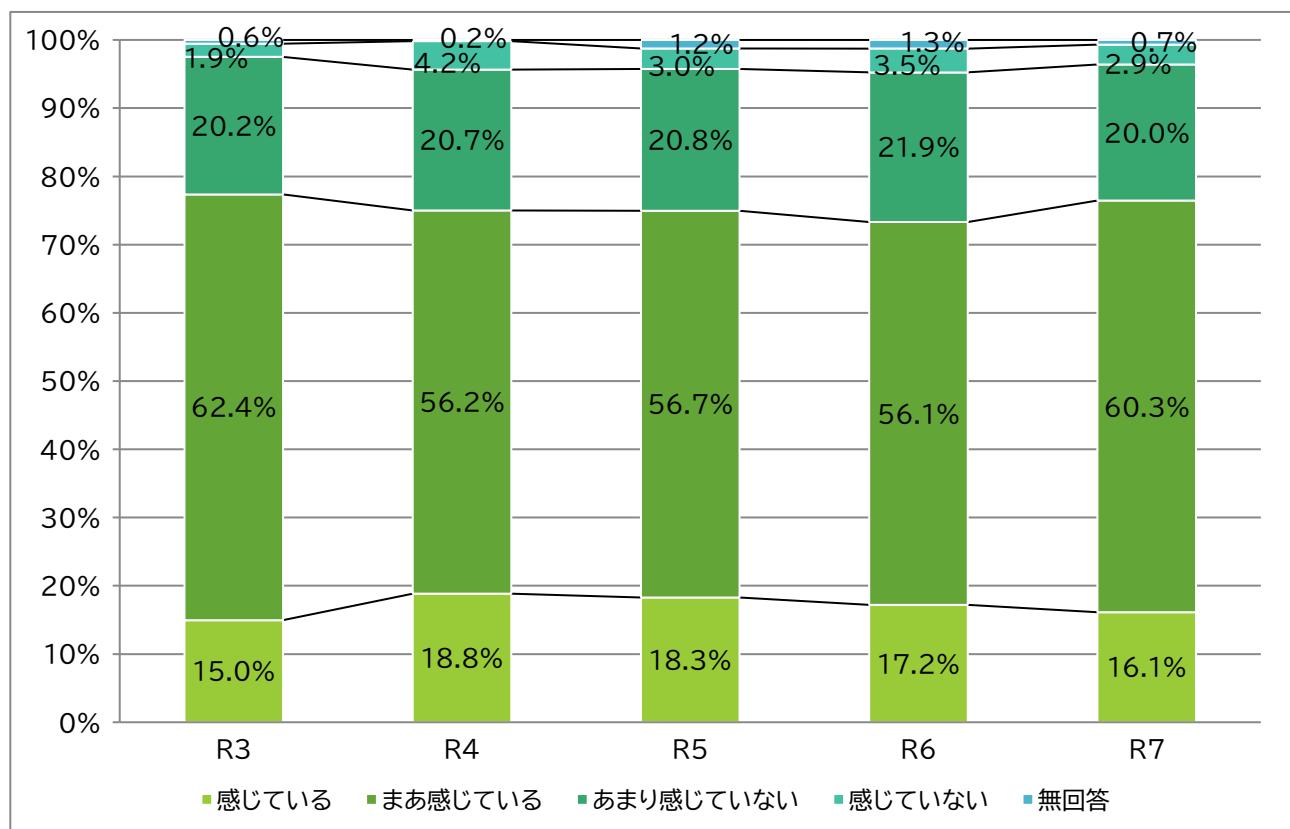
※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## [ 年代別 ]



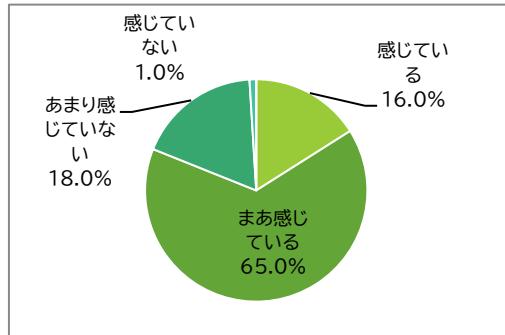
※年代別のグラフは年代無回答者の回答を含みません

## [ 経年変化 ]



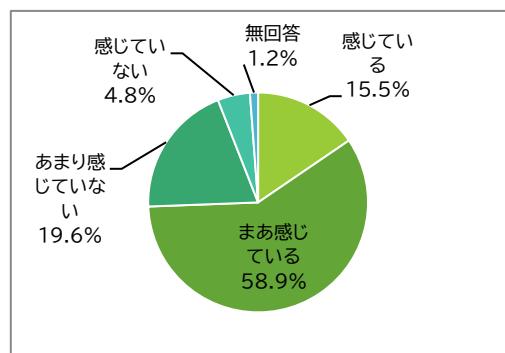
[ 地区別 ]      ※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

昭和地区



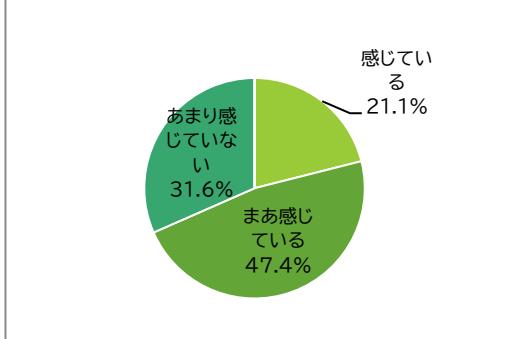
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	33	16.0%
まあ感じている	134	65.0%
あまり感じていない	37	18.0%
感じていない	2	1.0%
計	206	100.0%

長浦地区



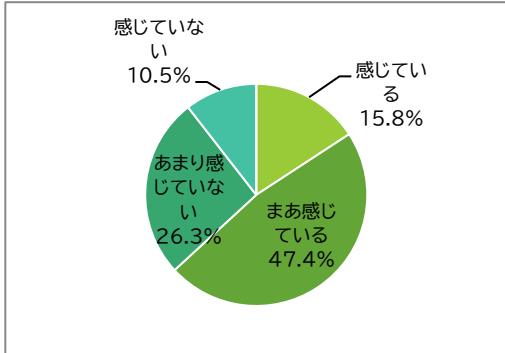
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	26	15.5%
まあ感じている	99	58.9%
あまり感じていない	33	19.6%
感じていない	8	4.8%
無回答	2	1.2%
計	168	100.0%

根形地区



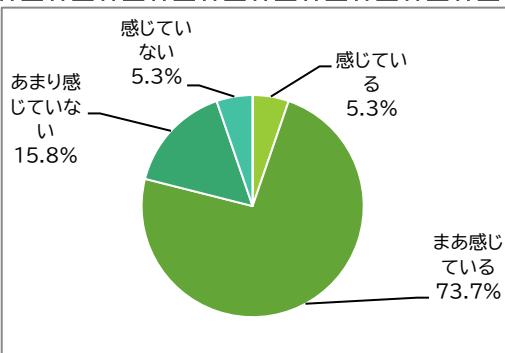
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	4	21.1%
まあ感じている	9	47.4%
あまり感じていない	6	31.6%
計	19	100.0%

平岡地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	3	15.8%
まあ感じている	9	47.4%
あまり感じていない	5	26.3%
感じていない	2	10.5%
計	19	100.0%

中富地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	1	5.3%
まあ感じている	14	73.7%
あまり感じていない	3	15.8%
感じていない	1	5.3%
計	19	100.0%

### ③基本目標3 子どもが健やかに育つ教育環境の整備

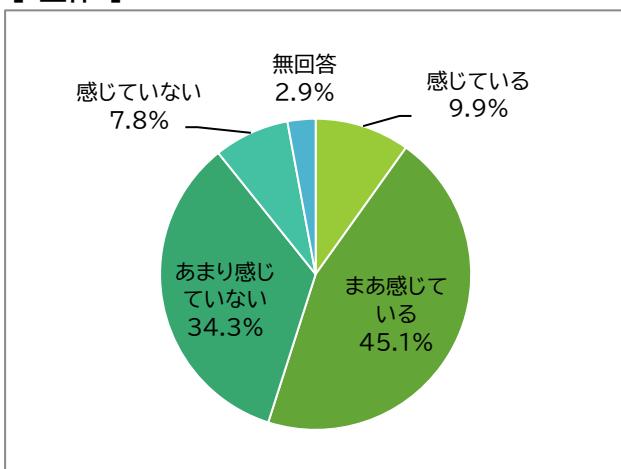
**目指す姿** 子どもの生きる力の育成に向けた地域の教育環境が整備され、子ども一人ひとりが集団生活を通して、丈夫な体と豊かな心を育んでいます。

設問9：あなたは、お子さまが主体的に生きていくための力の育成に向けて、地域や学校などの教育環境が整備されていると感じますか。

「感じている」「まあ感じている」を合わせた回答割合は減少傾向にあったが、昨年度と比較し約3%増加している。

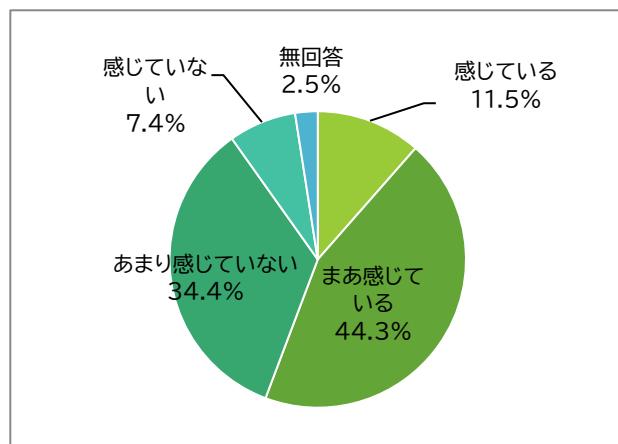
また、50代以上の「感じている」「まあ感じている」を合わせた回答割合は85.7%であり、他の年代と比較し大幅に高くなっている。

#### [ 全体 ]

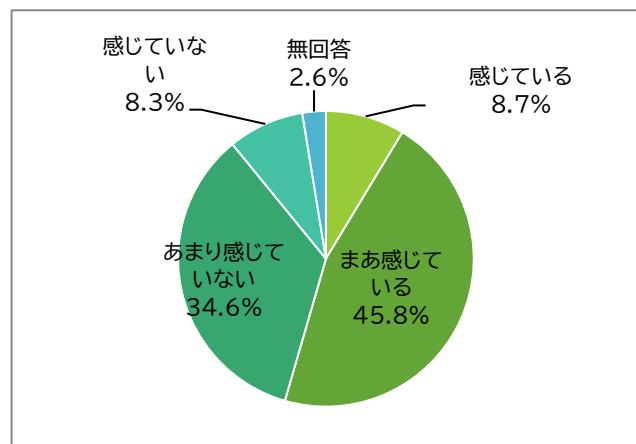


選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	44	9.9%
まあ感じている	201	45.1%
あまり感じていない	153	34.3%
感じていない	35	7.8%
無回答	13	2.9%
計	446	100.0%

#### [ 男性 ]

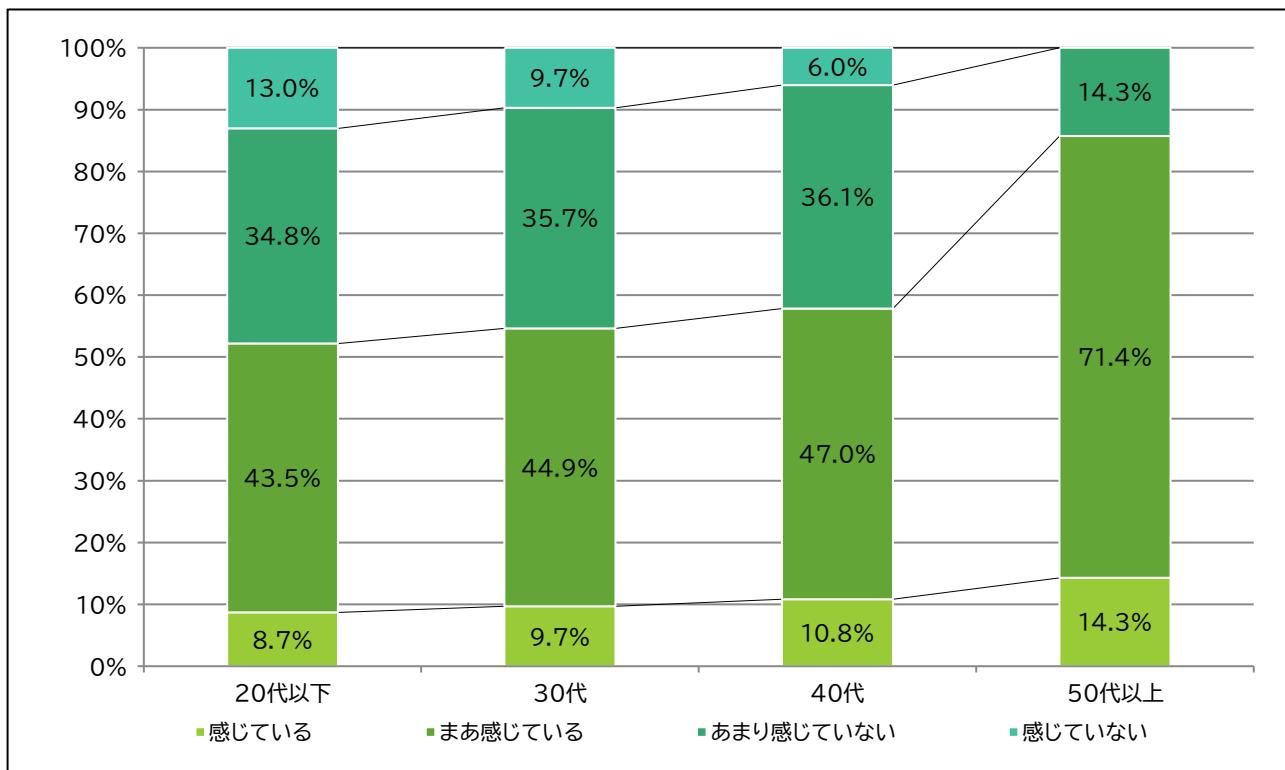


#### [ 女性 ]



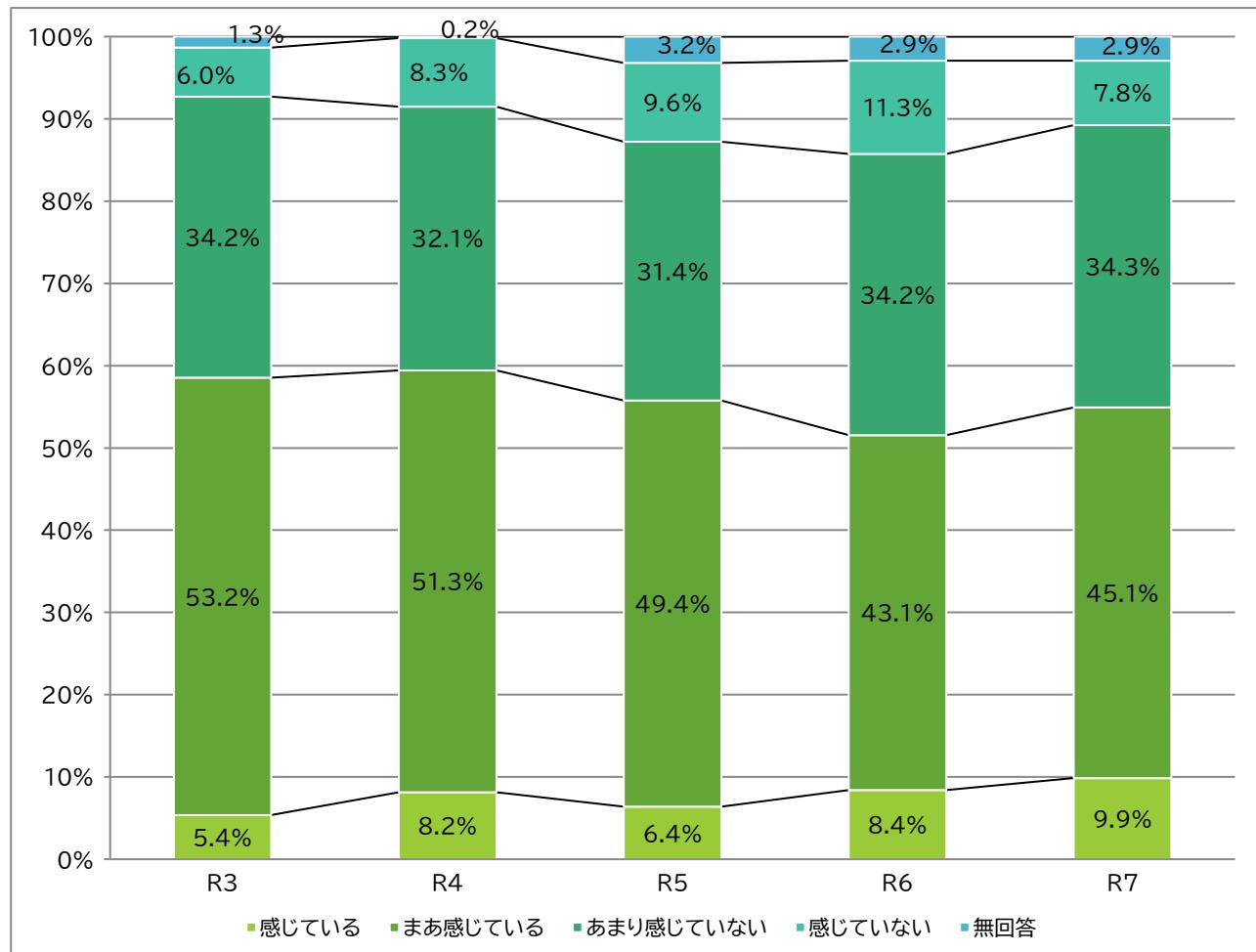
※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## [ 年代別 ]



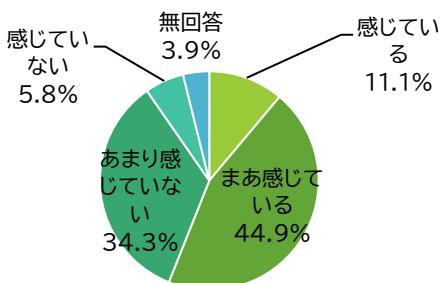
※年代別のグラフは年代無回答者の回答を含みません

## [ 経年変化 ]



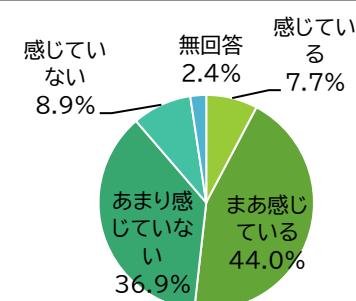
[ 地区別 ] ※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

昭和地区



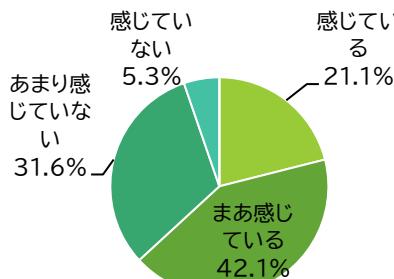
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	23	11.1%
まあ感じている	93	44.9%
あまり感じていない	71	34.3%
感じていない	12	5.8%
無回答	8	3.9%
計	207	100.0%

長浦地区



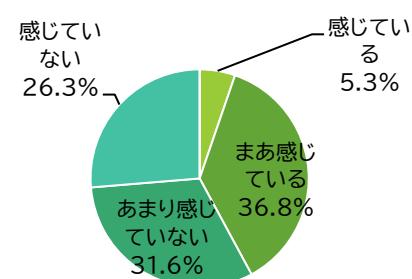
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	13	7.7%
まあ感じている	74	44.0%
あまり感じていない	62	36.9%
感じていない	15	8.9%
無回答	4	2.4%
計	168	100.0%

根形地区



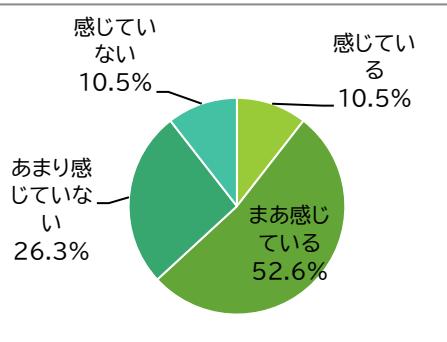
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	4	21.1%
まあ感じている	8	42.1%
あまり感じていない	6	31.6%
感じていない	1	5.3%
計	19	100.0%

平岡地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	1	5.3%
まあ感じている	7	36.8%
あまり感じていない	6	31.6%
感じていない	5	26.3%
計	19	100.0%

中富地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	2	10.5%
まあ感じている	10	52.6%
あまり感じていない	5	26.3%
感じていない	2	10.5%
計	16	100.0%

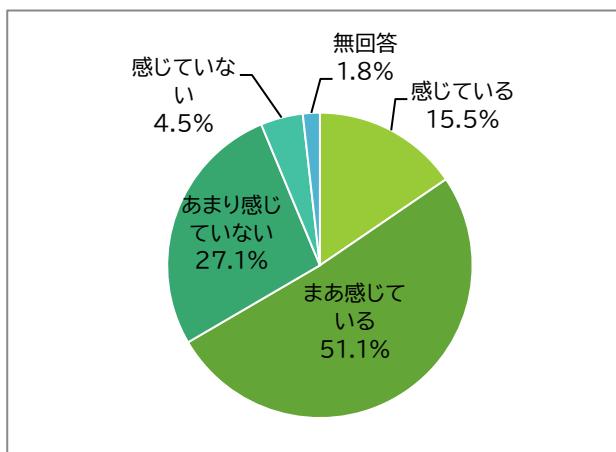
### ③基本目標3 子どもが健やかに育つ教育環境の整備

目指す姿 地域の協力を得ながら、様々な体験・活動や学習の機会が提供され、子どもたちが、子育ての意義や家庭の大切さに対する理解を進めています。

設問10：あなたは、お子さまが自然体験、社会体験、文化体験などをしやすい環境であると感じていますか。

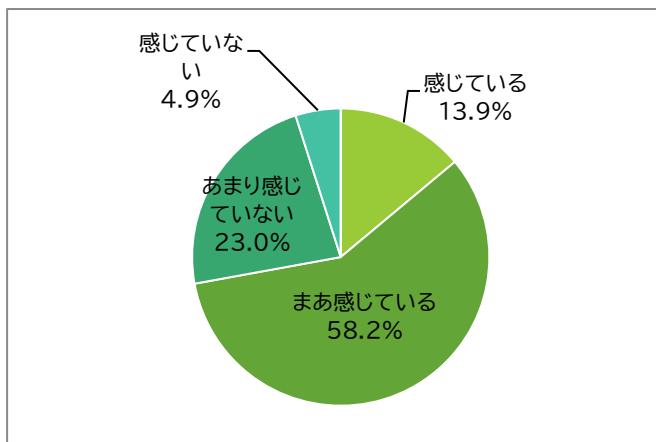
「感じている」「まあ感じている」を合わせた回答割合は66.6%であり、昨年度と比べると約3%増加し、過去5年間で最も高い数値となっている。

[ 全体 ]

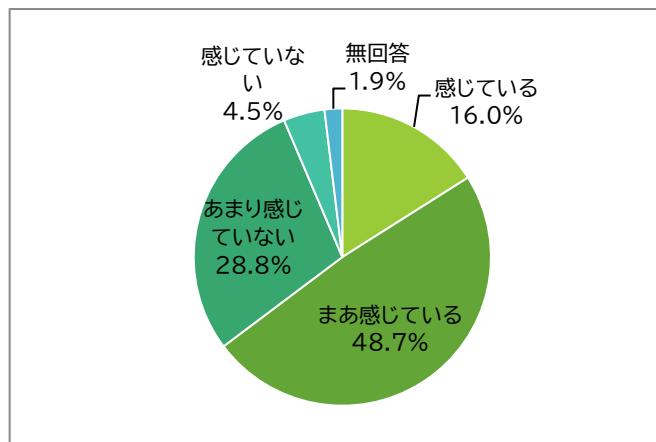


選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	69	15.5%
まあ感じている	228	51.1%
あまり感じていない	121	27.1%
感じていない	20	4.5%
無回答	8	1.8%
計	446	100.0%

[ 男性 ]

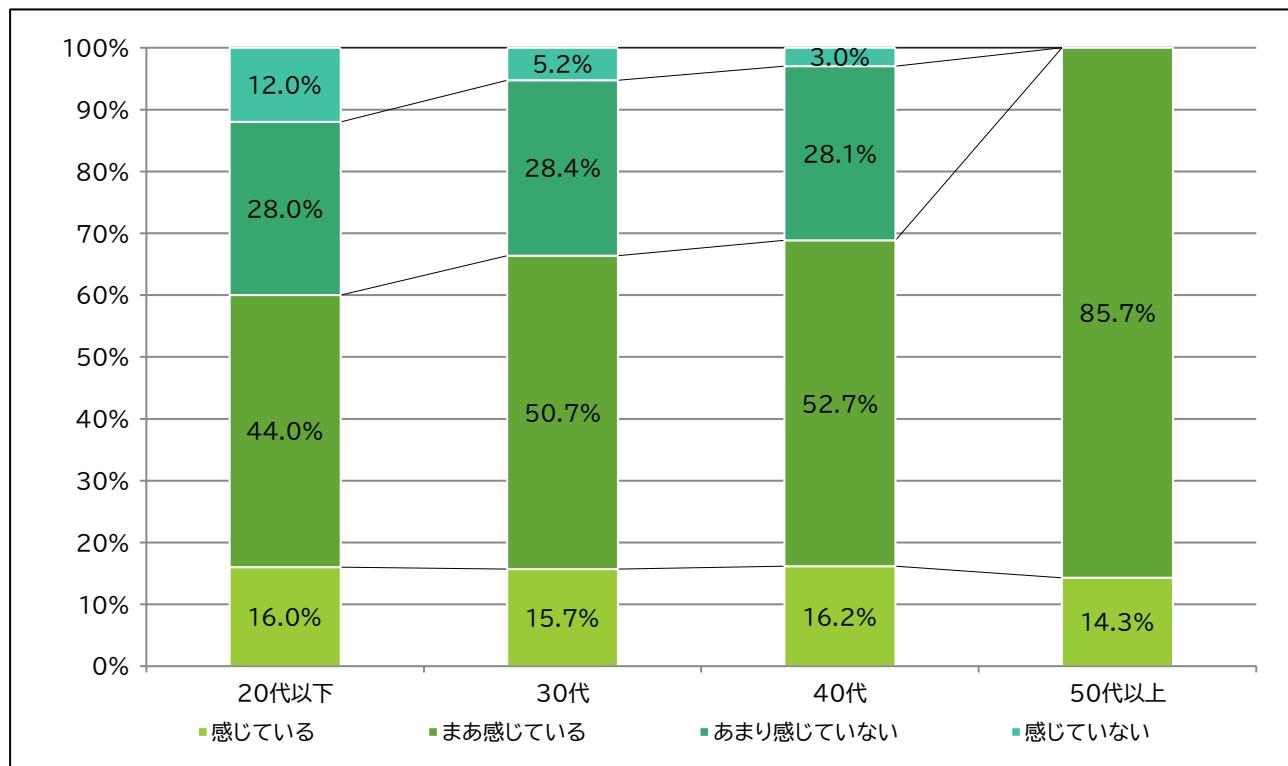


[ 女性 ]



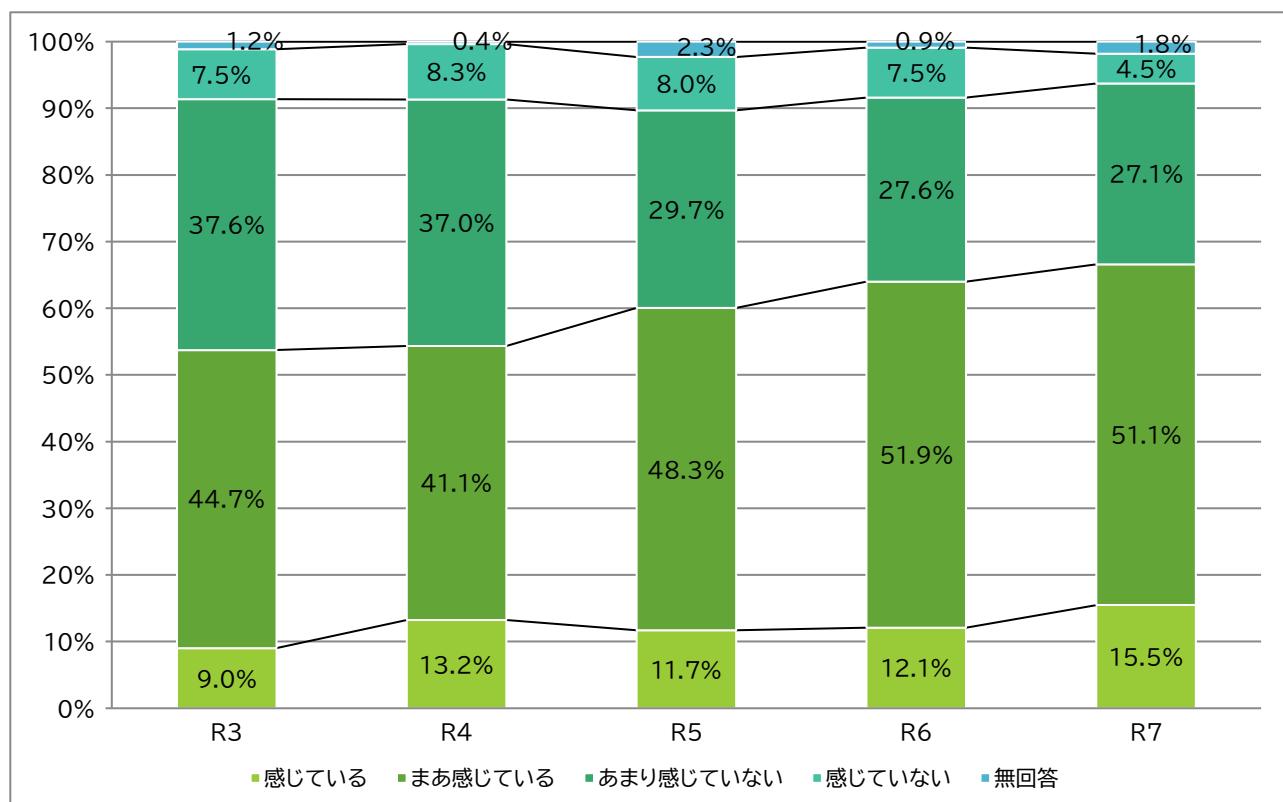
※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## 【年代別】



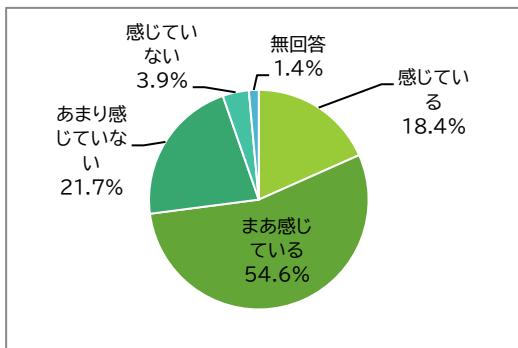
※年代別のグラフは年代無回答者の回答を含みません

## 【経年変化】

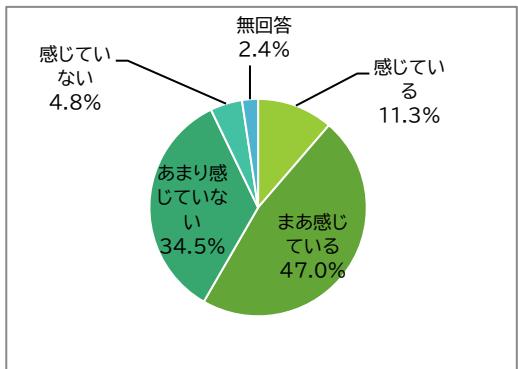


[ 地区別 ] ※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

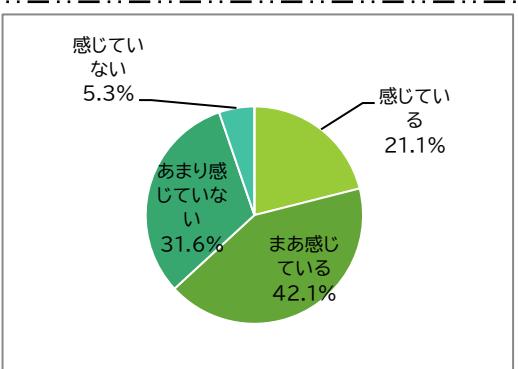
昭和地区



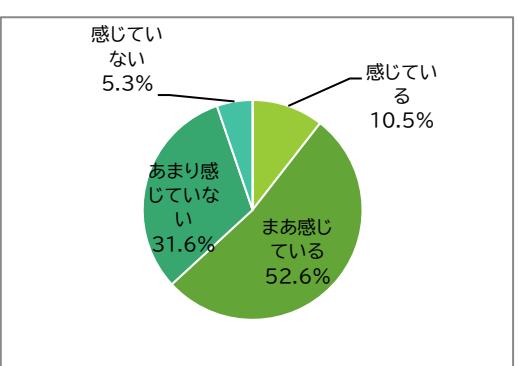
長浦地区



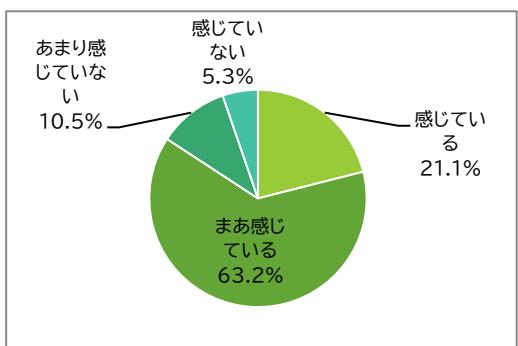
根形地区



平岡地区



中富地区



#### ④基本目標4 子育てを支援する生活環境の整備

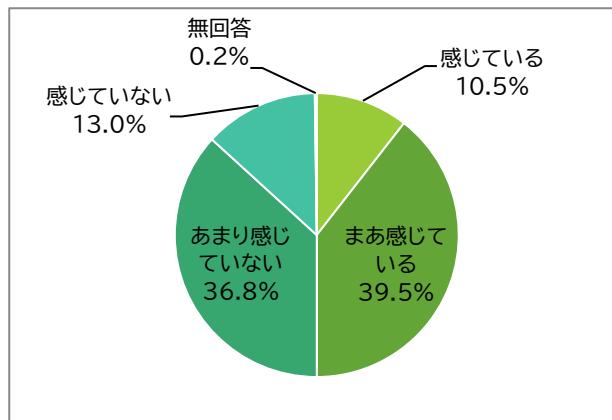
目指す姿 子どもと保護者が安心して外出し、遊ぶことができる生活環境が整備されています。

設問11：あなたは、お子さまにとって、またお子さまとの外出に際し、道路（歩道）、公園、遊び場（児童遊園）、交通機関、公共的建物等が、安全で使いやすいと感じていますか。

「感じている」「まあ感じている」を合わせた回答割合は50.0%であり、減少傾向が続いている。

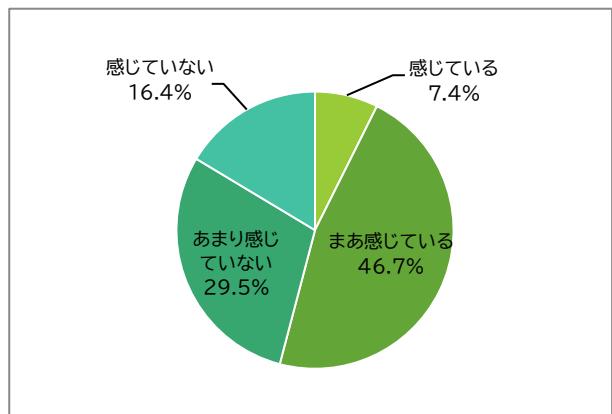
地区別に見ると、特に平岡地区で「感じていない」の割合が多くなっている。

##### [ 全体 ]

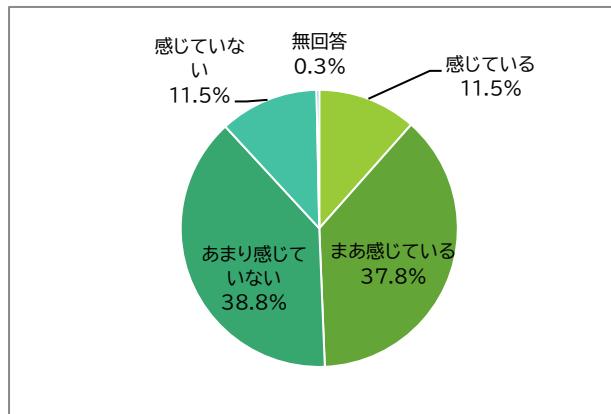


選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	47	10.5%
まあ感じている	176	39.5%
あまり感じていない	164	36.8%
感じていない	58	13.0%
無回答	1	0.2%
計	446	100.0%

##### [ 男性 ]

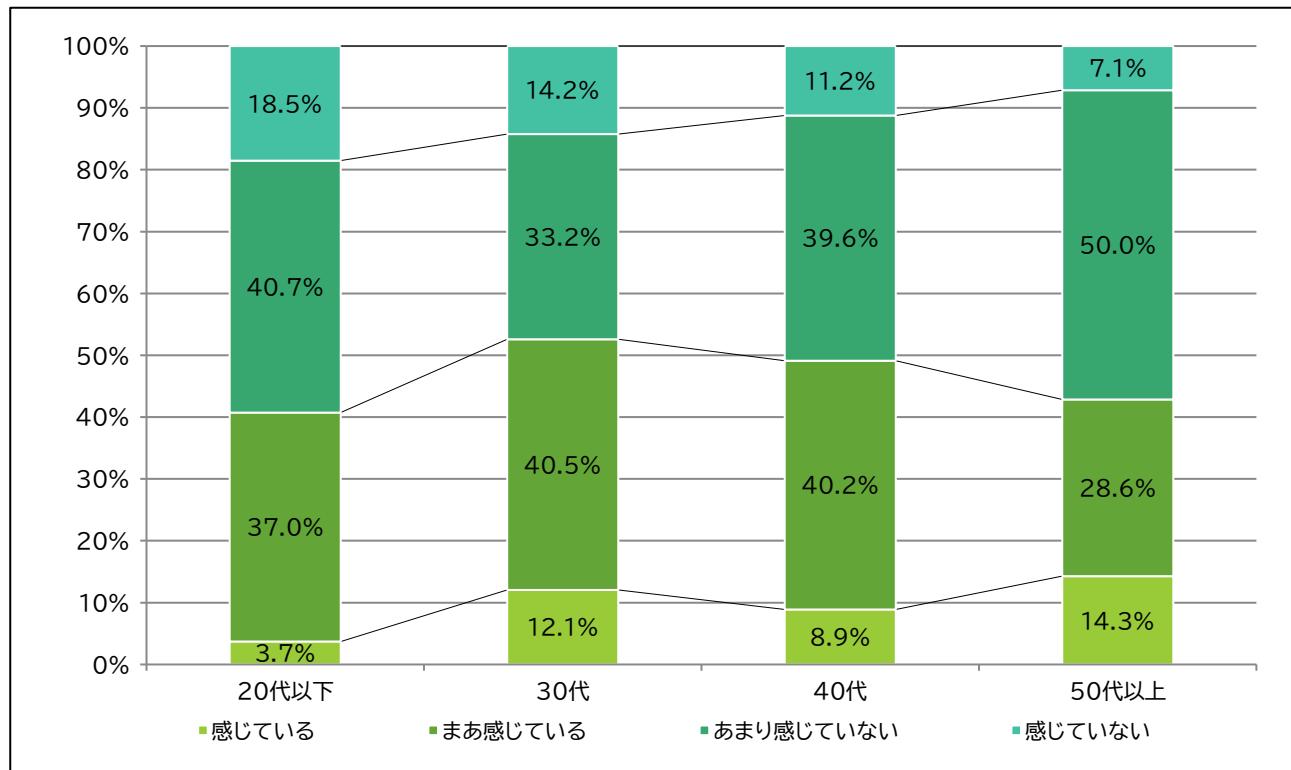


##### [ 女性 ]

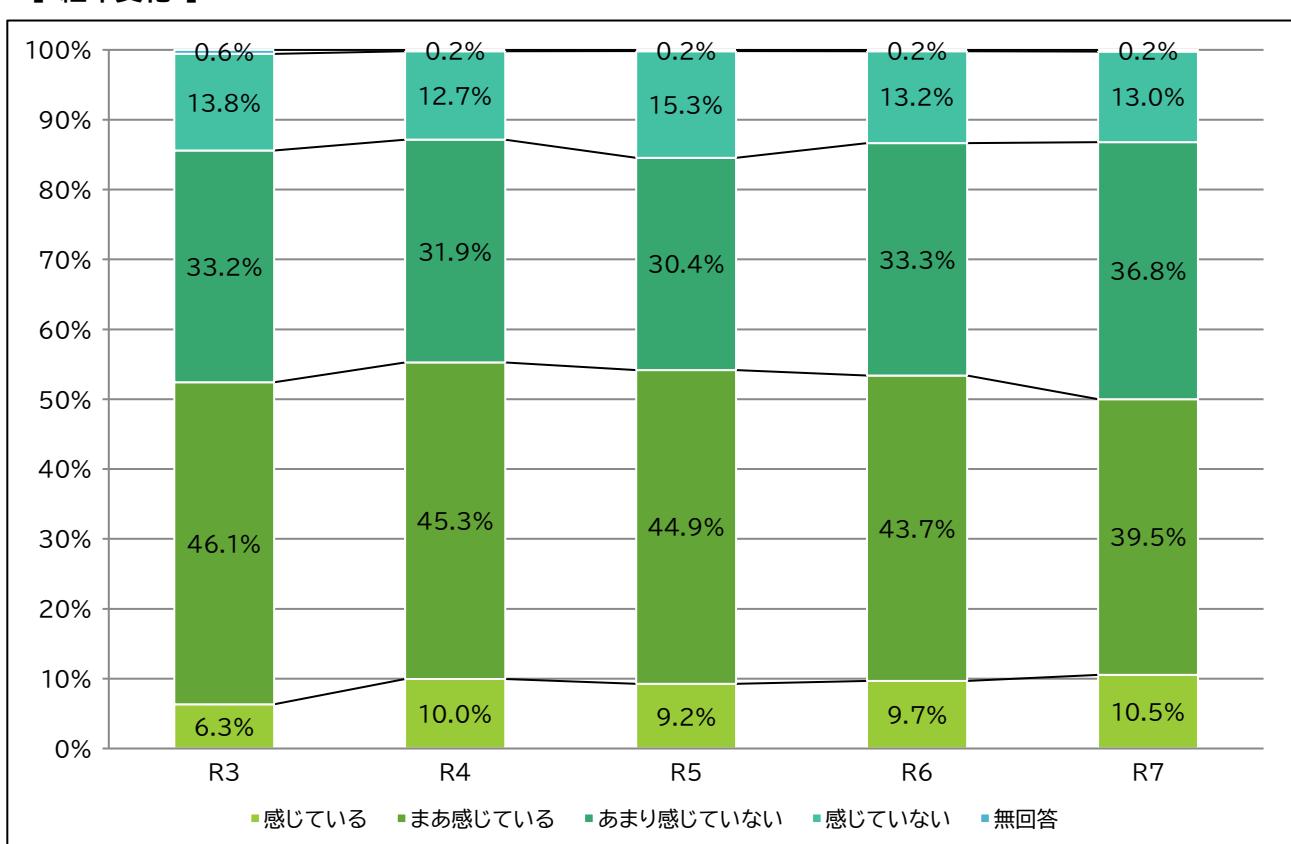


※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## [ 年代別 ]

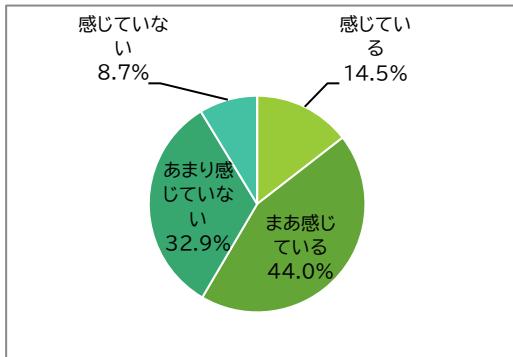


## [ 経年変化 ]

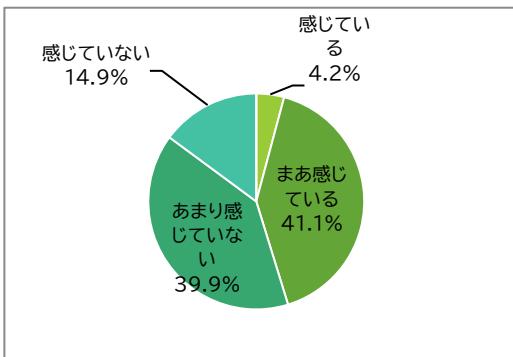


[ 地区別 ] ※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

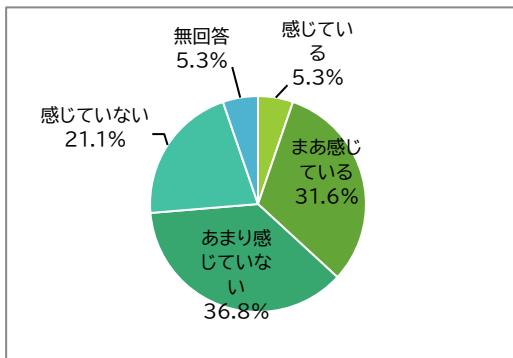
昭和地区



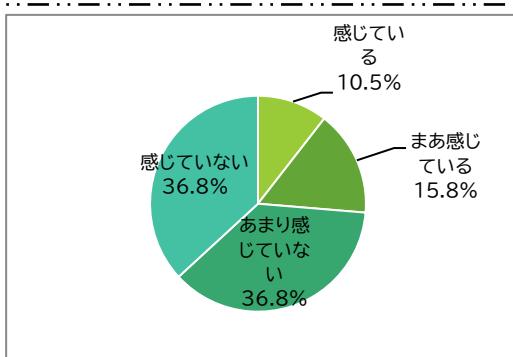
長浦地区



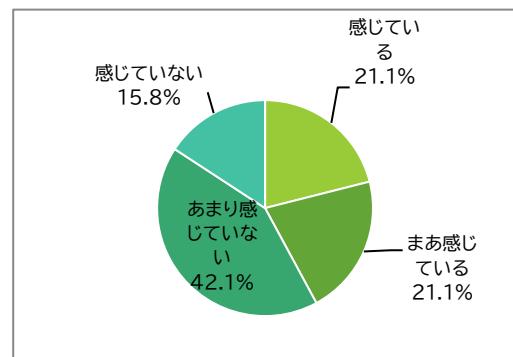
根形地区



平岡地区



中富地区



## ⑤基本目標5 職業生活と家庭生活との両立の支援

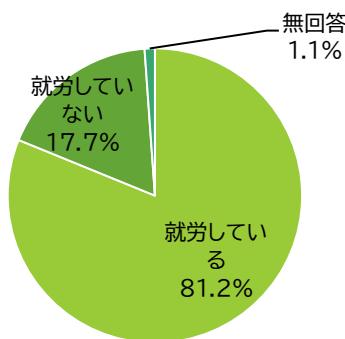
目指す姿 子育て家庭がライフスタイルにあった保育サービスを選択し、利用でき、一人ひとりが望むワーク・ライフ・バランスが保たれています。

設問12：あなたの現在の就労状況について、該当する方（a 就労している、b 就労していない）に○をつけてください。

「就労している」の回答割合は81.2%で、年々増加しており、年代が上がるにつれて就労割合が高くなっている。

また、女性の就労割合は74.4%であり、こちらも昨年度と比較し増加している。

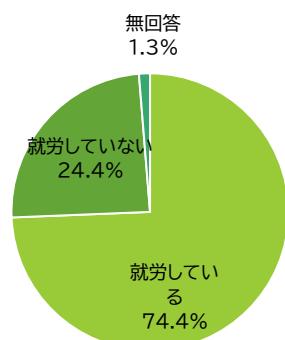
### [ 全体 ]



### [ 男性 ]

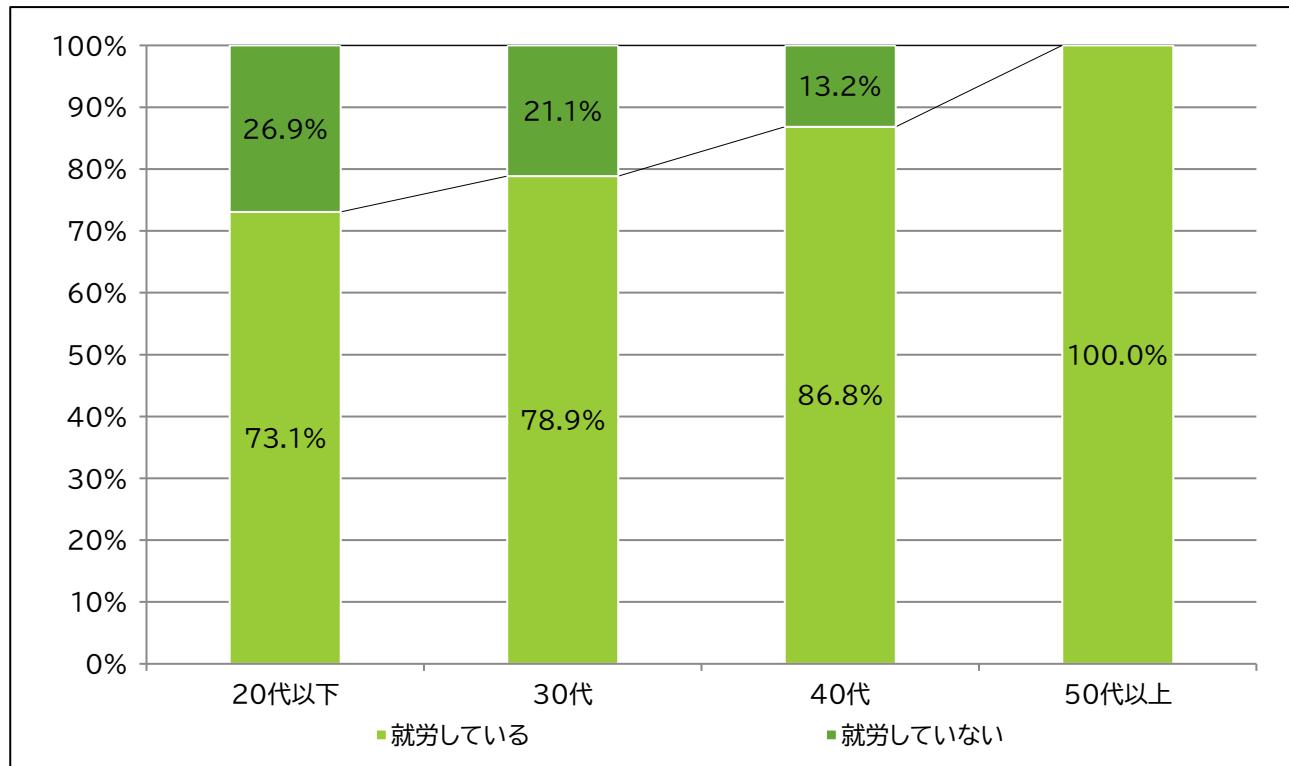


### [ 女性 ]

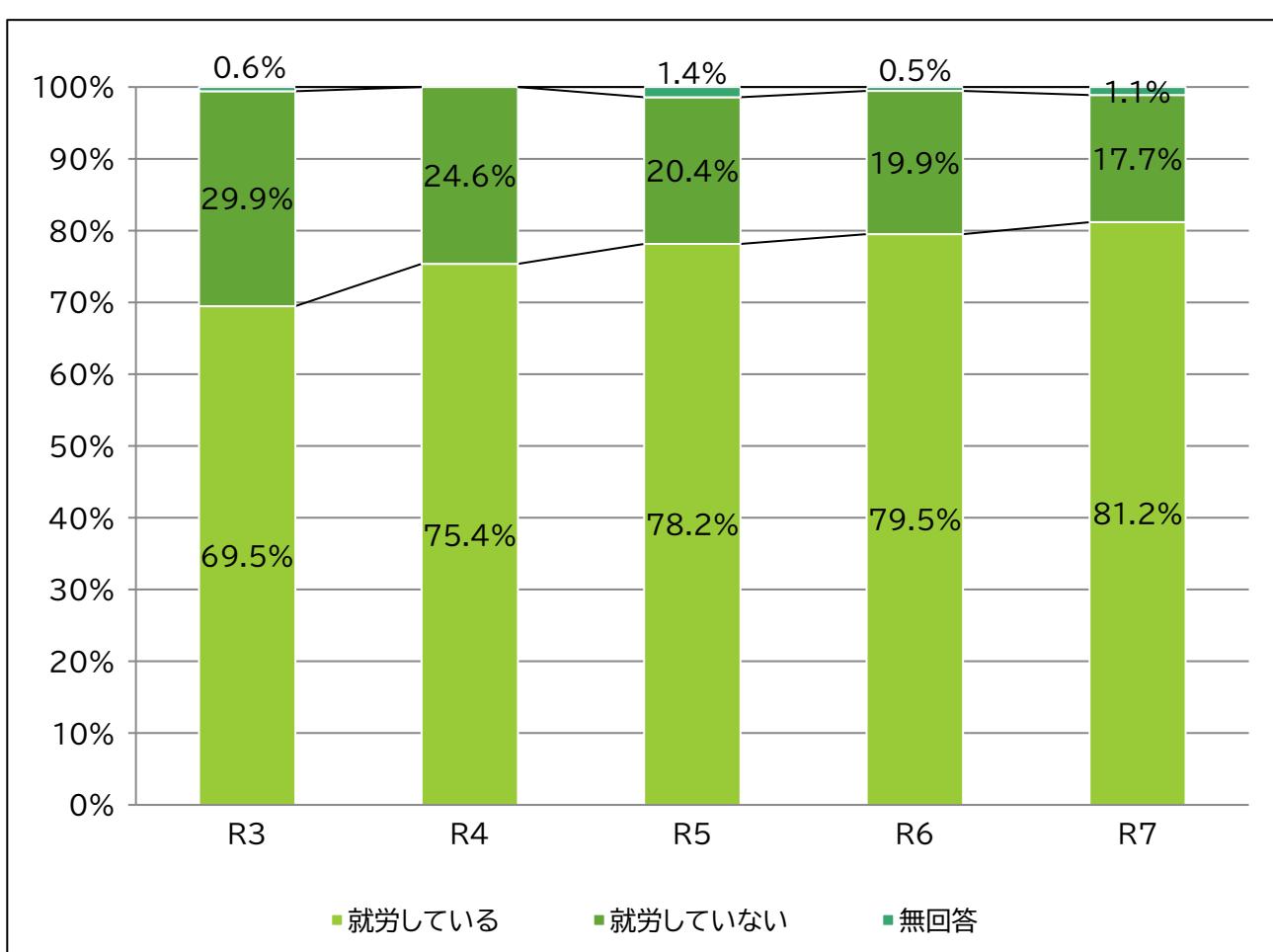


※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## [ 年代別 ]

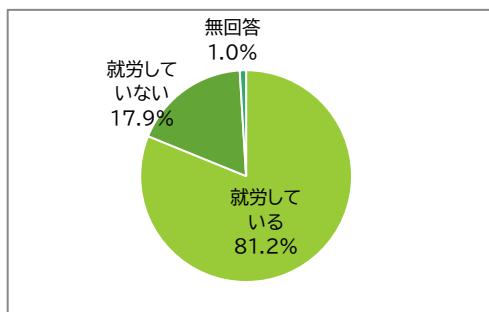


## [ 経年変化 ]

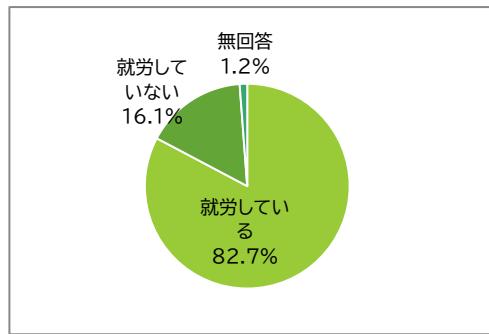


[ 地区別 ] ※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

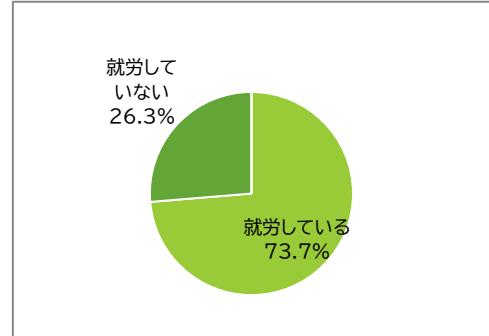
昭和地区



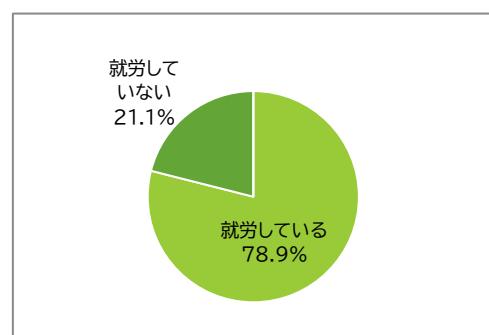
長浦地区



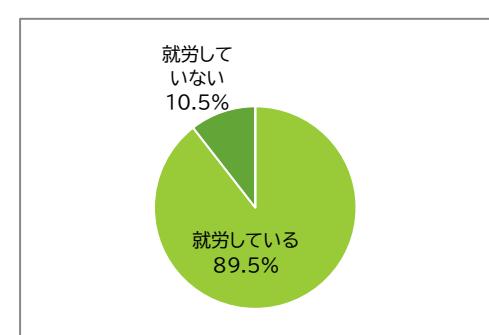
根形地区



平岡地区



中富地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
就労している	168	81.2%
就労していない	37	17.9%
無回答	2	1.0%
計	207	100.0%

選択肢	選択者(人)	割合(%)
就労している	139	82.7%
就労していない	27	16.1%
無回答	2	1.2%
計	168	100.0%

選択肢	選択者(人)	割合(%)
就労している	14	73.7%
就労していない	5	26.3%
計	19	100.0%

選択肢	選択者(人)	割合(%)
就労している	15	78.9%
就労していない	4	21.1%
計	19	100.0%

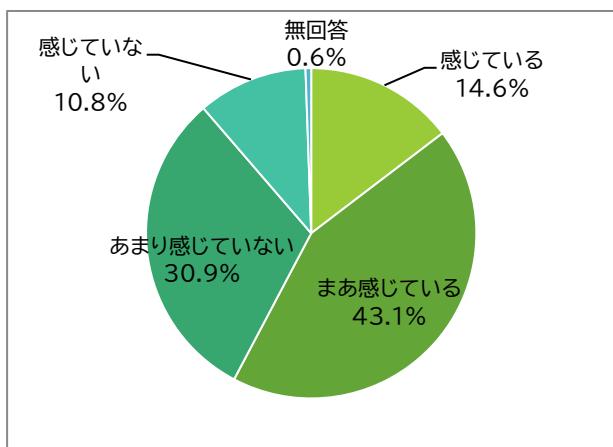
選択肢	選択者(人)	割合(%)
就労している	17	89.5%
就労していない	2	10.5%
計	19	100.0%

設問12－2：「a 就労している」と回答した方にお伺いします。

あなたは、仕事と生活（家事、育児、プライベートの時間等）の両立が図られていると感じますか。

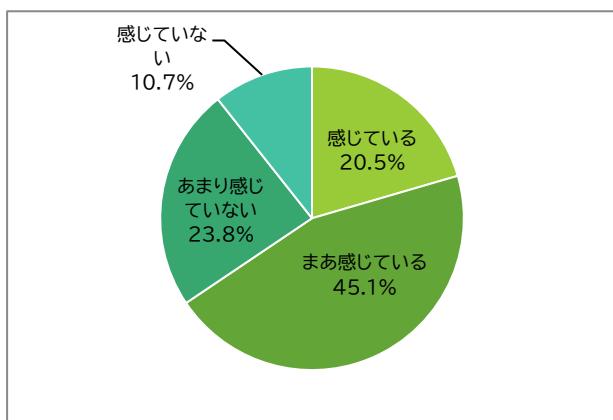
「感じている」「まあ感じている」を合わせた回答割合は57.7%であり、令和4年度以降は減少傾向となっている。

### [ 全体 ]

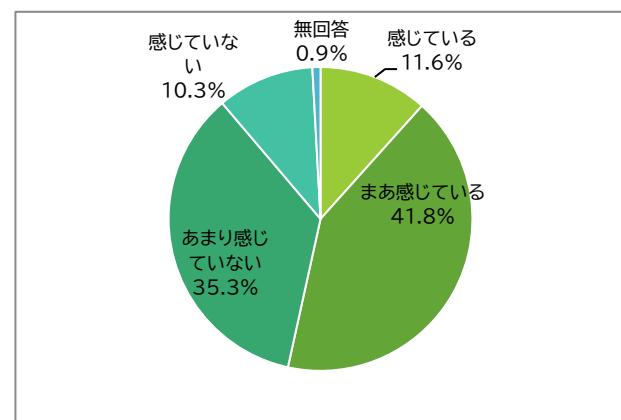


選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	53	14.6%
まあ感じている	156	43.1%
あまり感じていない	112	30.9%
感じていない	39	10.8%
無回答	2	0.6%
計	362	100.0%

### [ 男性 ]

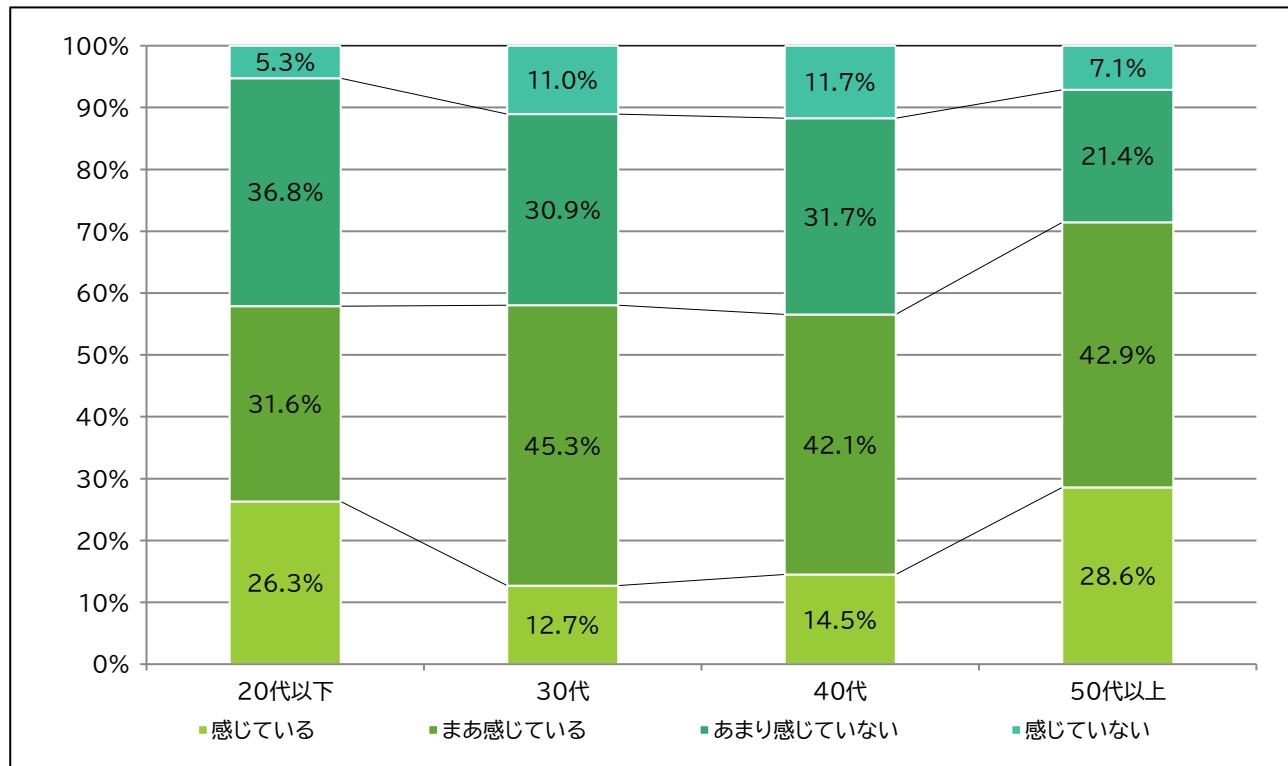


### [ 女性 ]



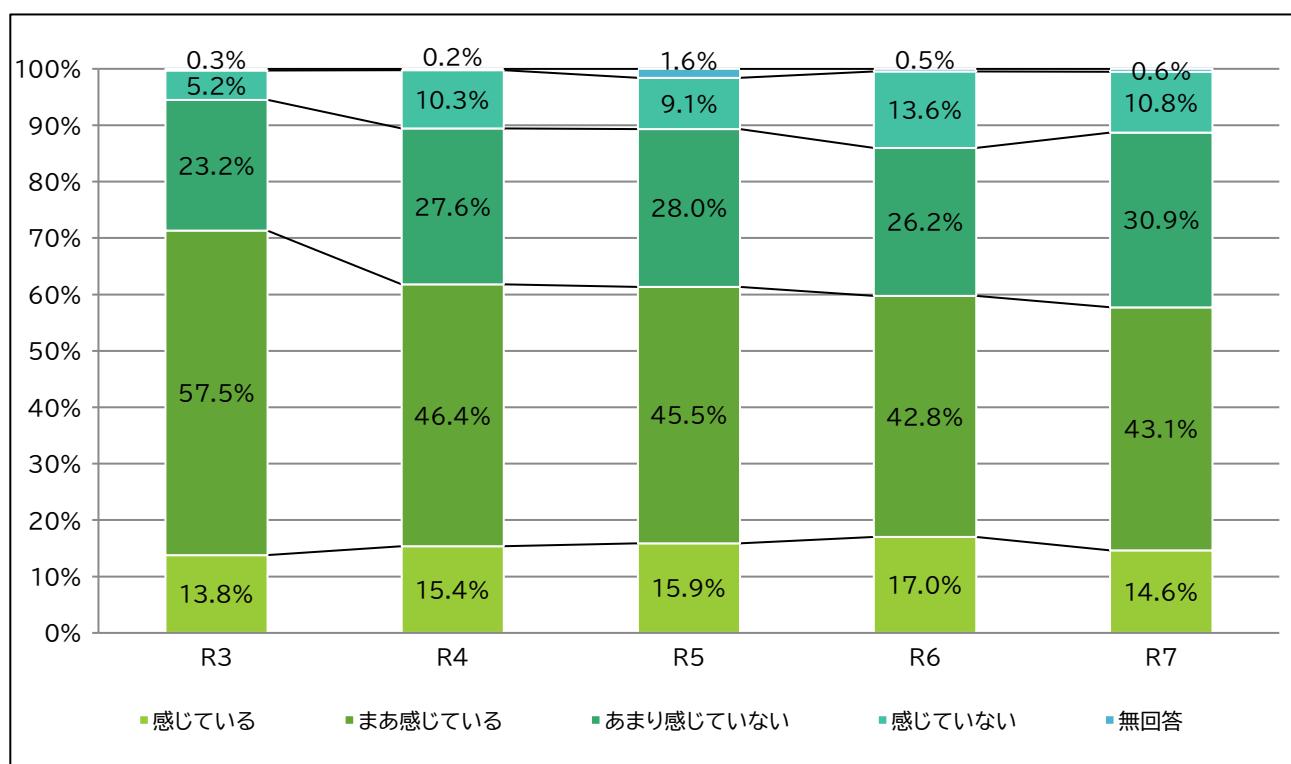
※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## [ 年代別 ]



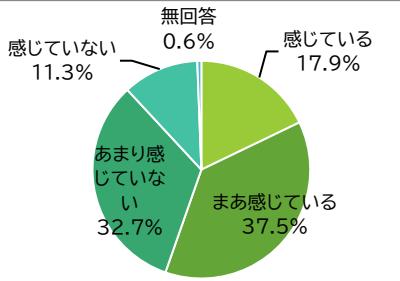
※年代別のグラフは年代無回答者の回答を含みません

## [ 経年変化 ]



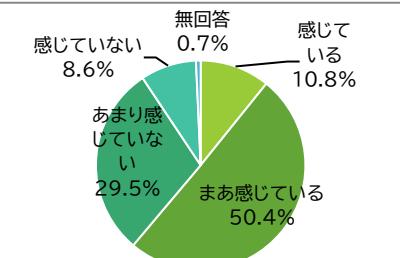
[ 地区別 ] ※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

昭和地区



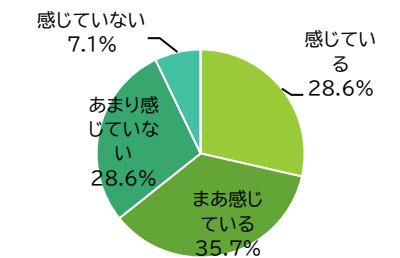
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	30	17.9%
まあ感じている	63	37.5%
あまり感じていない	55	32.7%
感じていない	19	11.3%
計	168	100.0%

長浦地区



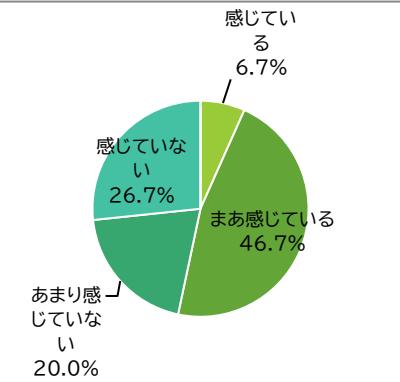
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	15	10.8%
まあ感じている	70	50.4%
あまり感じていない	41	29.5%
感じていない	12	8.6%
無回答	1	0.7%
計	139	100.0%

根形地区



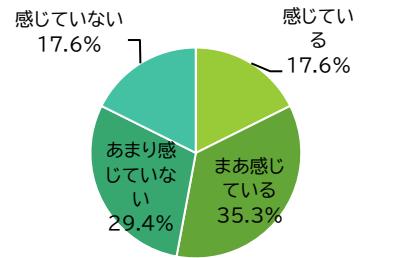
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	4	28.6%
まあ感じている	5	35.7%
あまり感じていない	4	28.6%
感じていない	1	7.1%
計	14	100.0%

平岡地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	1	6.7%
まあ感じている	7	46.7%
あまり感じていない	3	20.0%
感じていない	4	26.7%
計	15	100.0%

中富地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	3	17.6%
まあ感じている	6	35.3%
あまり感じていない	5	29.4%
感じていない	3	17.6%
計	17	100.0%

## ⑥基本目標 6 子どもの安全の確保

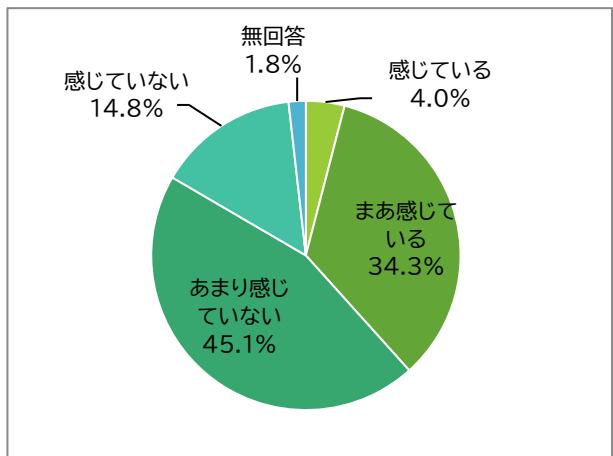
目指す姿 地域の連携により、事故や犯罪から子どもたちが守られています。

設問13：あなたは、地域における防犯活動が活発であると感じていますか。

「感じている」「まあ感じている」を合わせた回答割合は38.3%となっており、昨年度と比べて約5%上昇した。

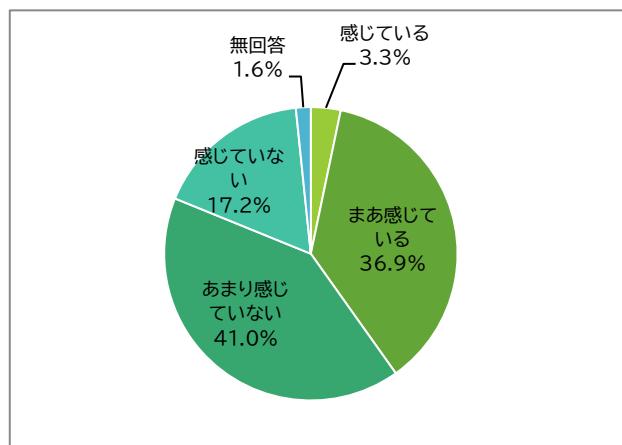
一方で、「感じていない」の回答割合は14.8%で、微増傾向にある。

[ 全体 ]

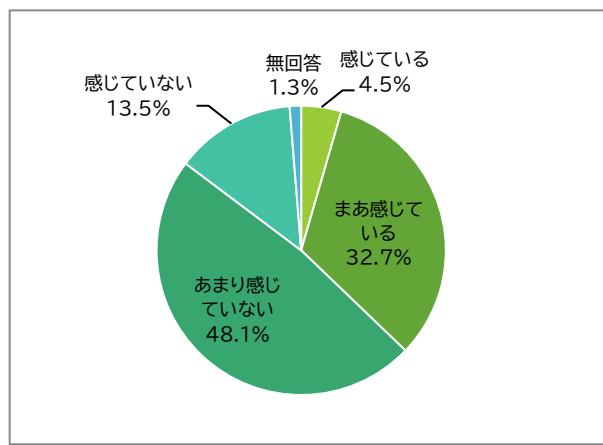


選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	18	4.0%
まあ感じている	153	34.3%
あまり感じていない	201	45.1%
感じていない	66	14.8%
無回答	8	1.8%
計	446	100.0%

[ 男性 ]

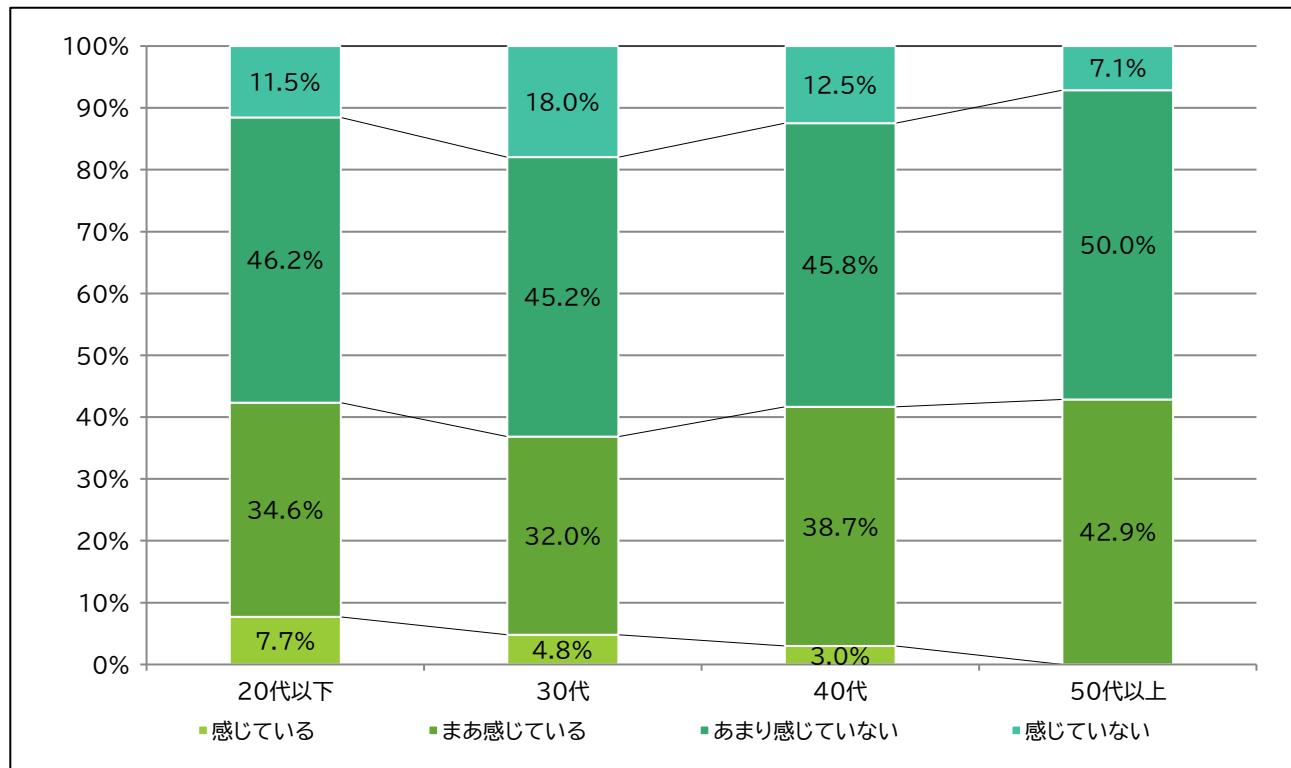


[ 女性 ]



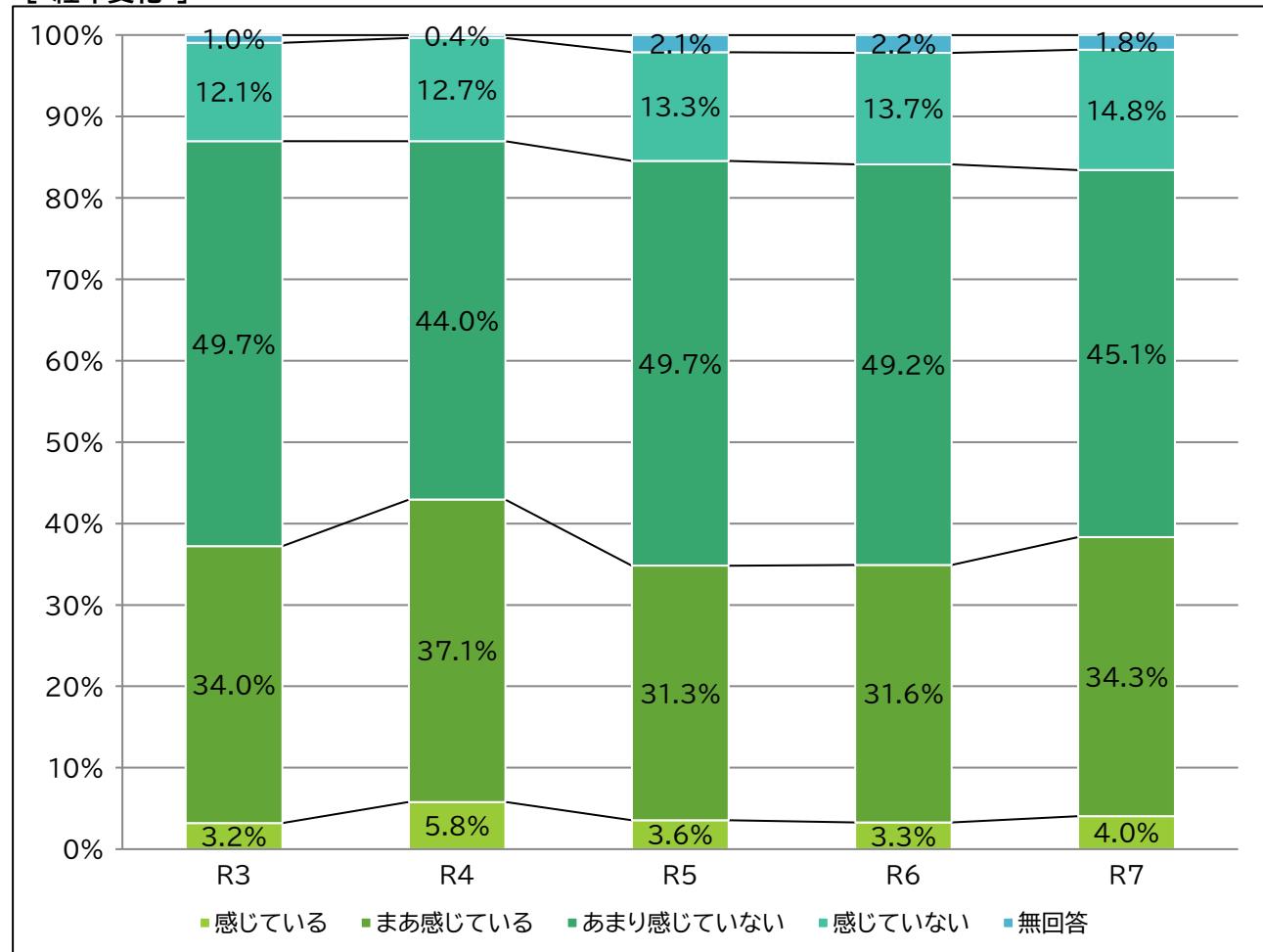
※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## [ 年代別 ]



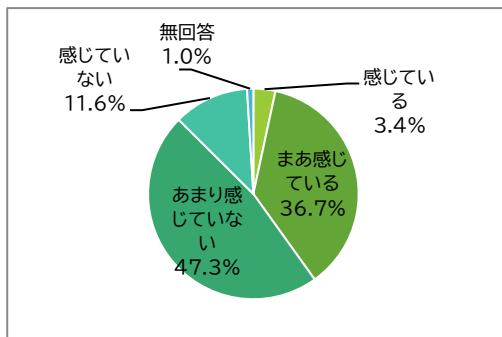
※年代別のグラフは年代無回答者の回答を含みません

## [ 経年変化 ]

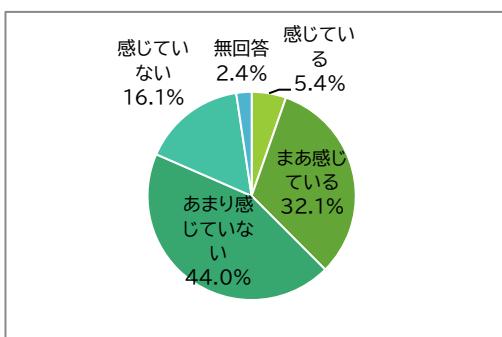


[ 地区別 ] ※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

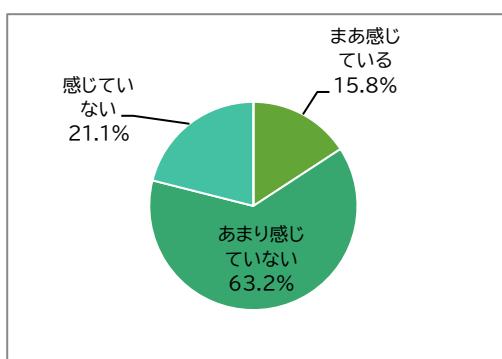
昭和地区



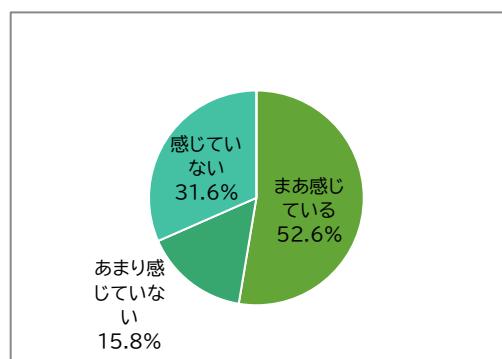
長浦地区



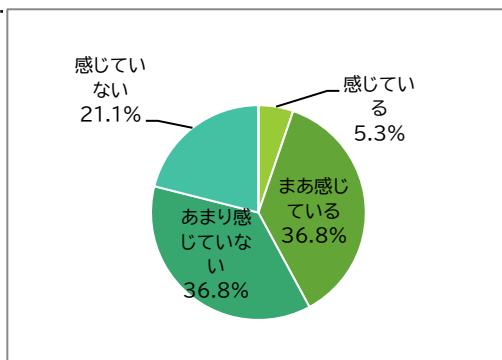
根形地区



平岡地区



中富地区



## ⑥基本目標7 子どもの安全の確保

### 目指す姿

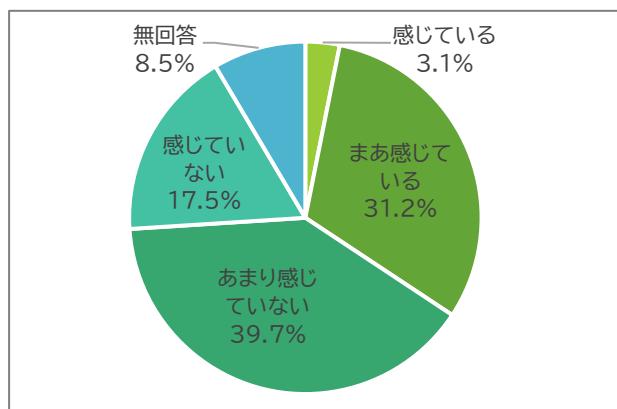
子どもたちは、日常生活の中で、交通安全のルールや防犯意識を身に付け、犯罪などに巻き込まれない力が培われています。  
地域の連携により、事故や犯罪から子どもたちが守られています。

設問14：あなたは、地域において子どもに係る事故や犯罪が少なくなっていると感じていますか。

「感じている」「まあ感じている」を合わせた回答割合は34.3%と昨年度より6.5%減少しており、「あまり感じていない」「感じていない」を合わせた回答割合の方が57.2%と高い状況にある。

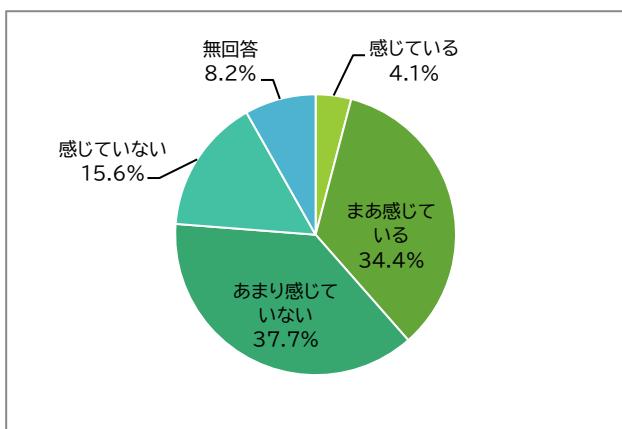
地区別に見ると、特に長浦地区及び中富地区で「感じている」「まあ感じている」の割合が少ない傾向となっている。

### [ 全体 ]

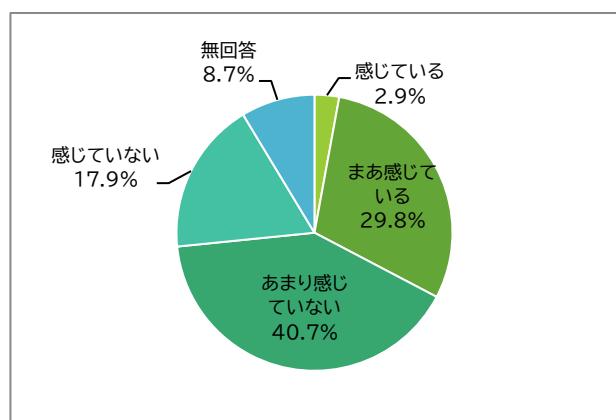


選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	14	3.1%
まあ感じている	139	31.2%
あまり感じていない	177	39.7%
感じていない	78	17.5%
無回答	38	8.5%
計	446	100.0%

### [ 男性 ]

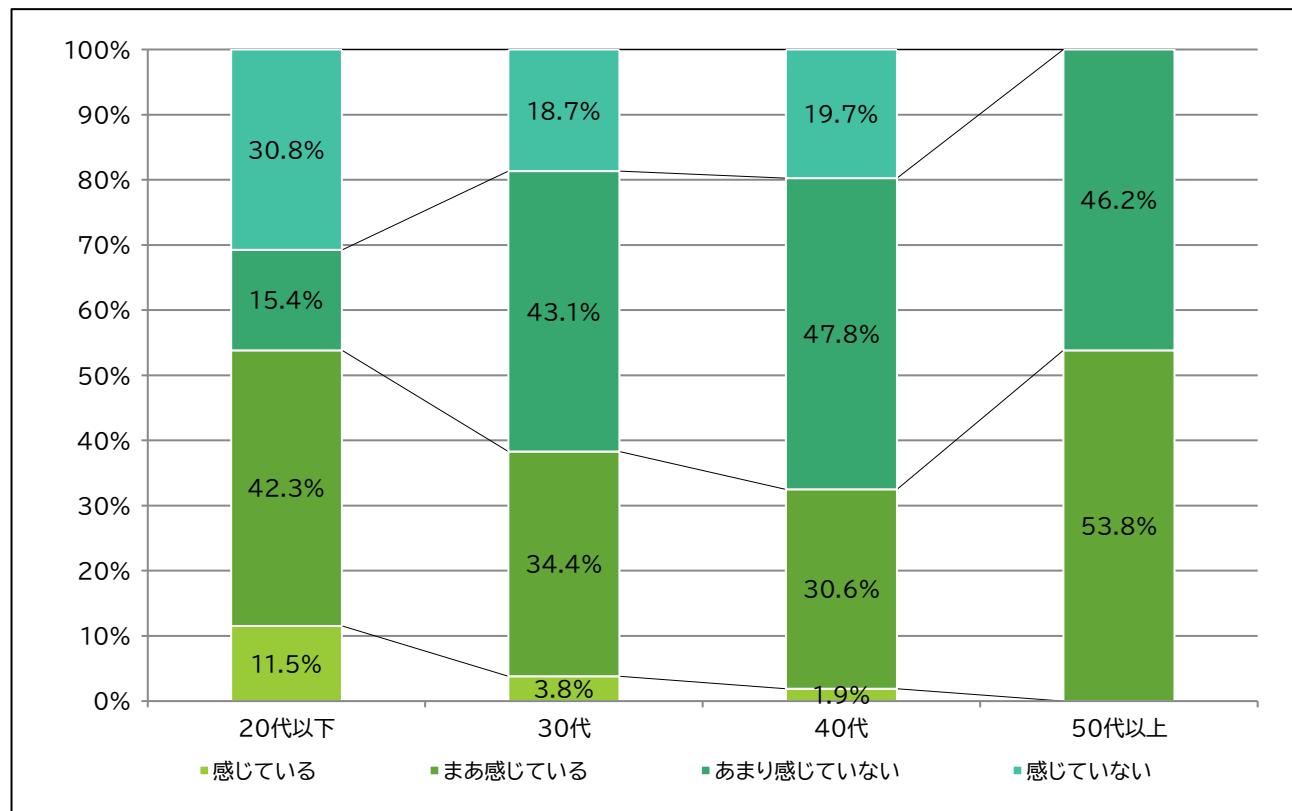


### [ 女性 ]

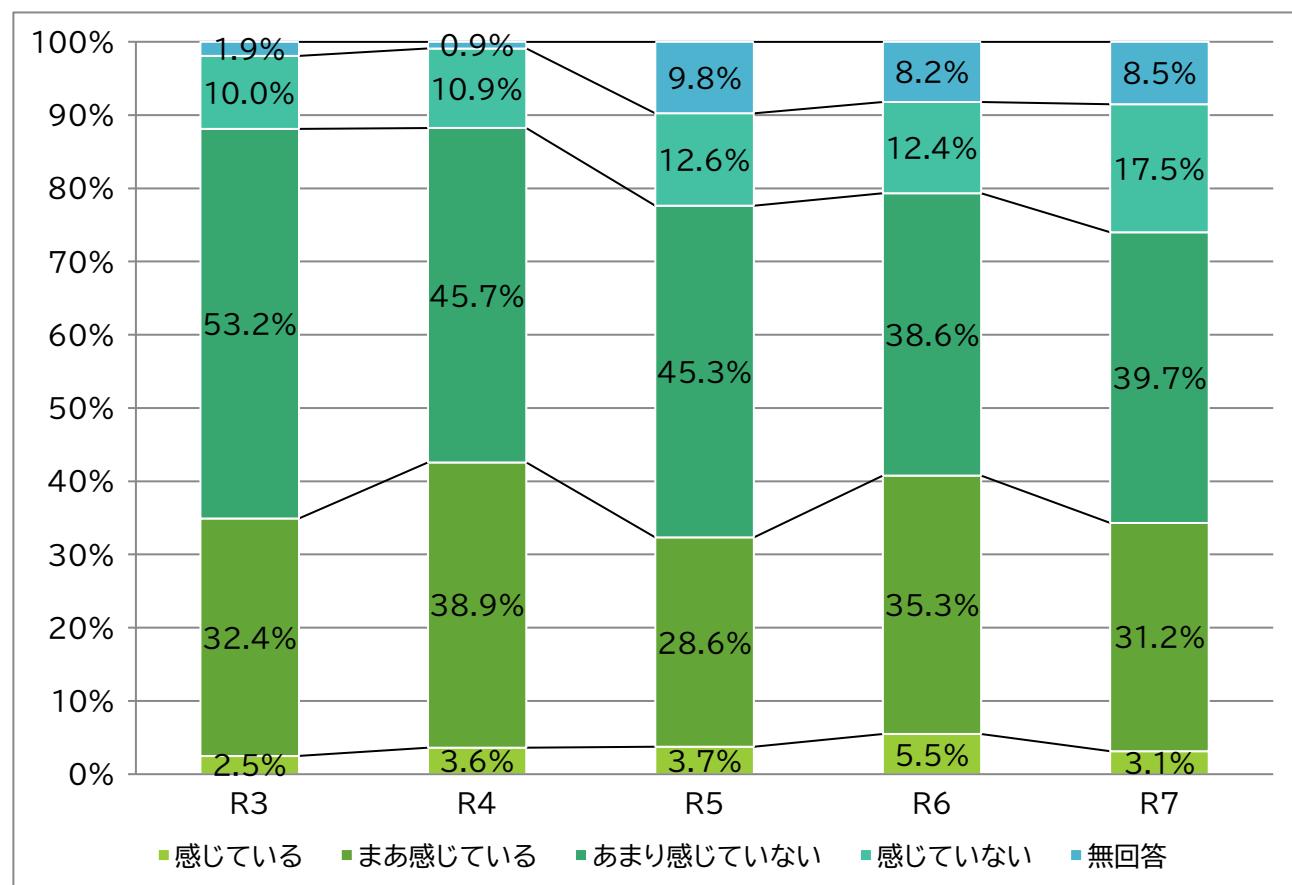


※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## [ 年代別 ]

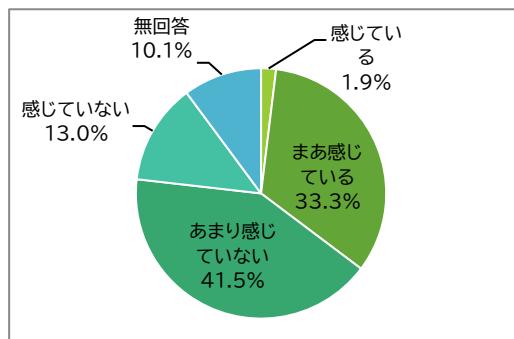


## [ 経年変化 ]

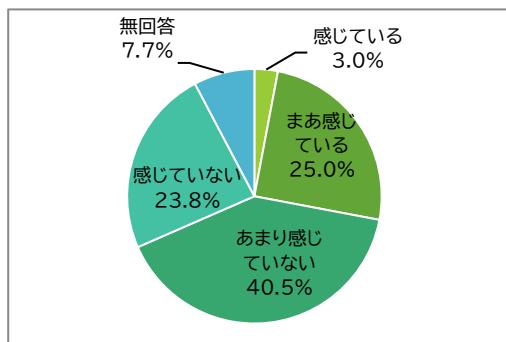


[ 地区別 ] ※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

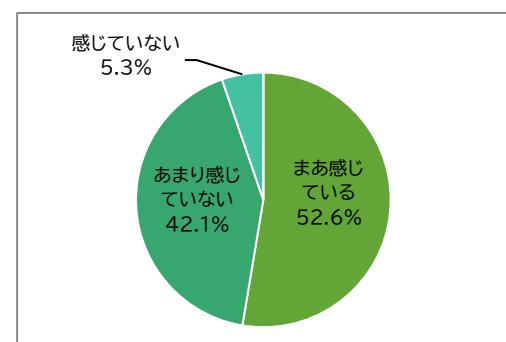
昭和地区



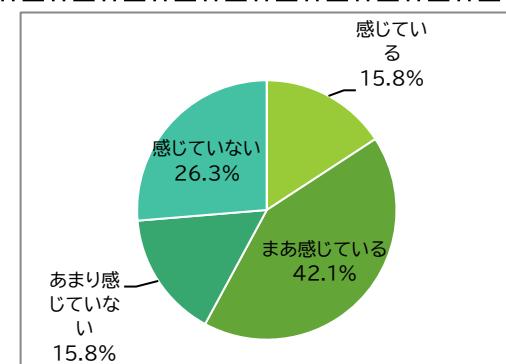
長浦地区



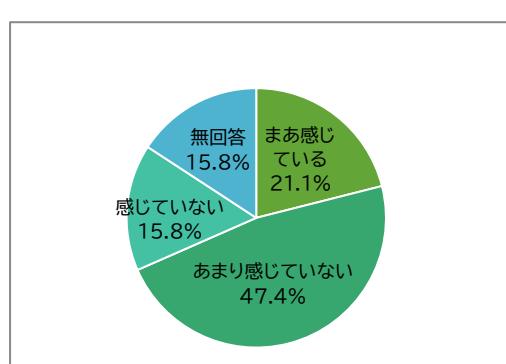
根形地区



平岡地区



中富地区



## ⑦基本目標 7 配慮を必要とする子ども・子育て家庭への支援体制の整備

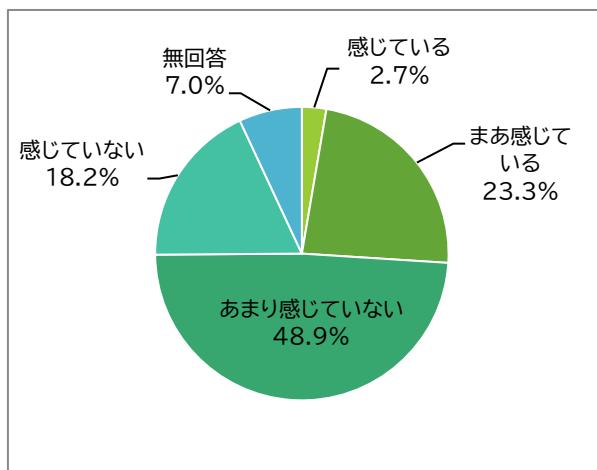
目指す姿 あらゆる機会において虐待が早期に発見され、適切・迅速な対応により子どもが守られています。

設問15：あなたは、児童の虐待の防止など、子どもを地域全体で見守る取組みが進んでいますか。

「あまり感じていない」「感じていない」を合わせた回答割合の方が67.1%と高い状況にある。

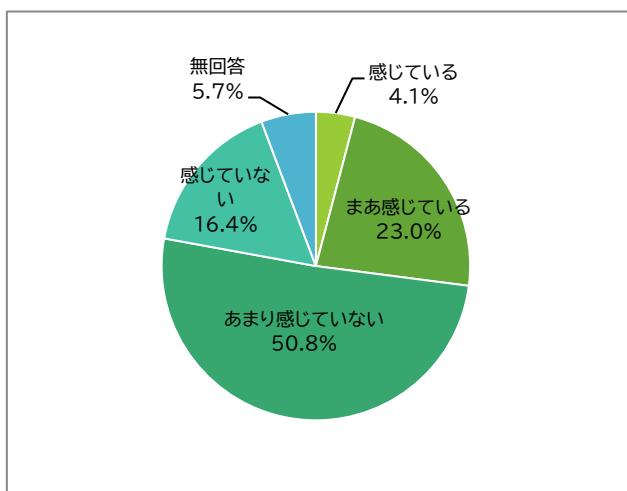
特に、中富地区では「あまり感じていない」「感じていない」の回答割合が高い傾向となっている。

### [ 全体 ]

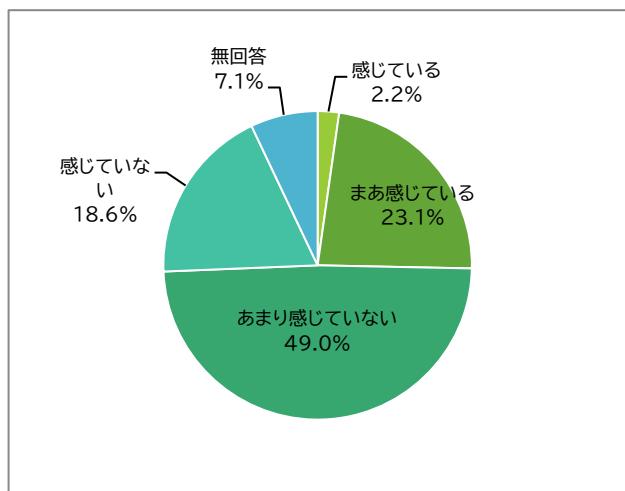


選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	12	2.7%
まあ感じている	104	23.3%
あまり感じていない	218	48.9%
感じていない	81	18.2%
無回答	31	7.0%
計	446	100.0%

### [ 男性 ]

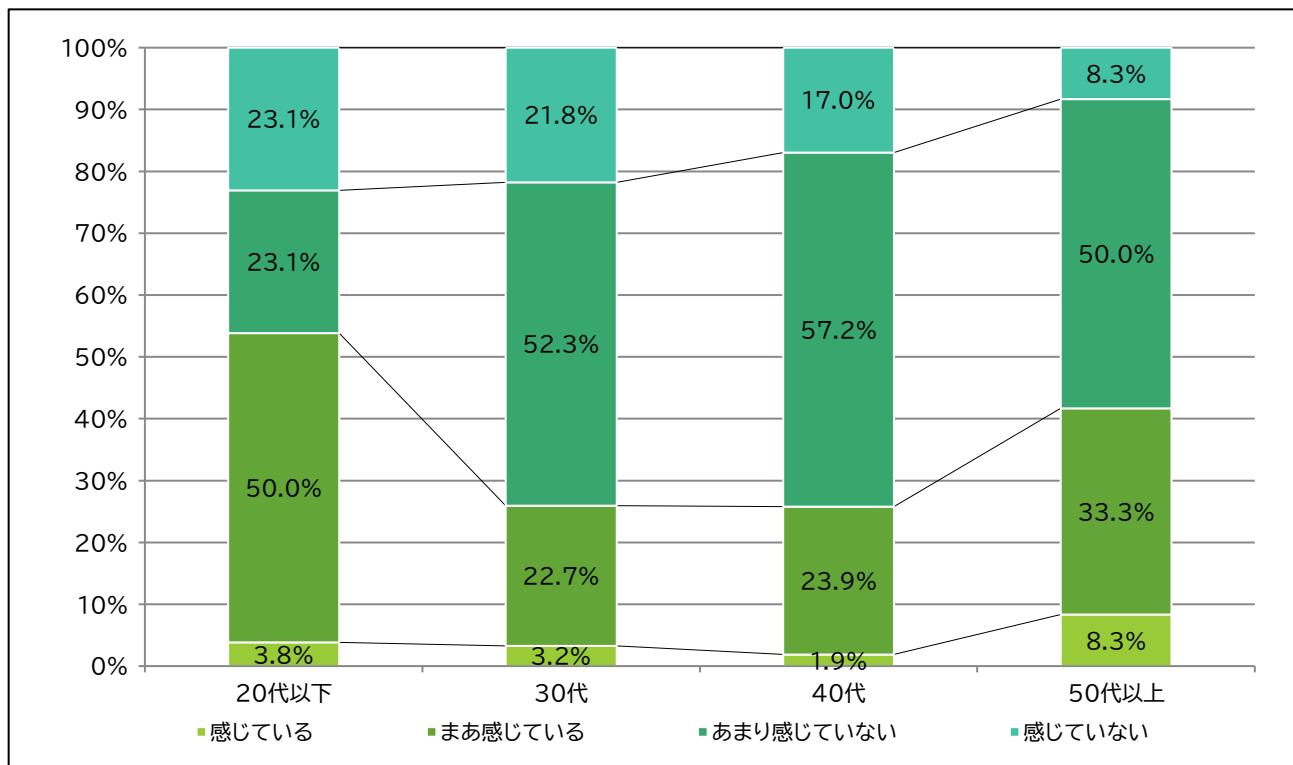


### [ 女性 ]



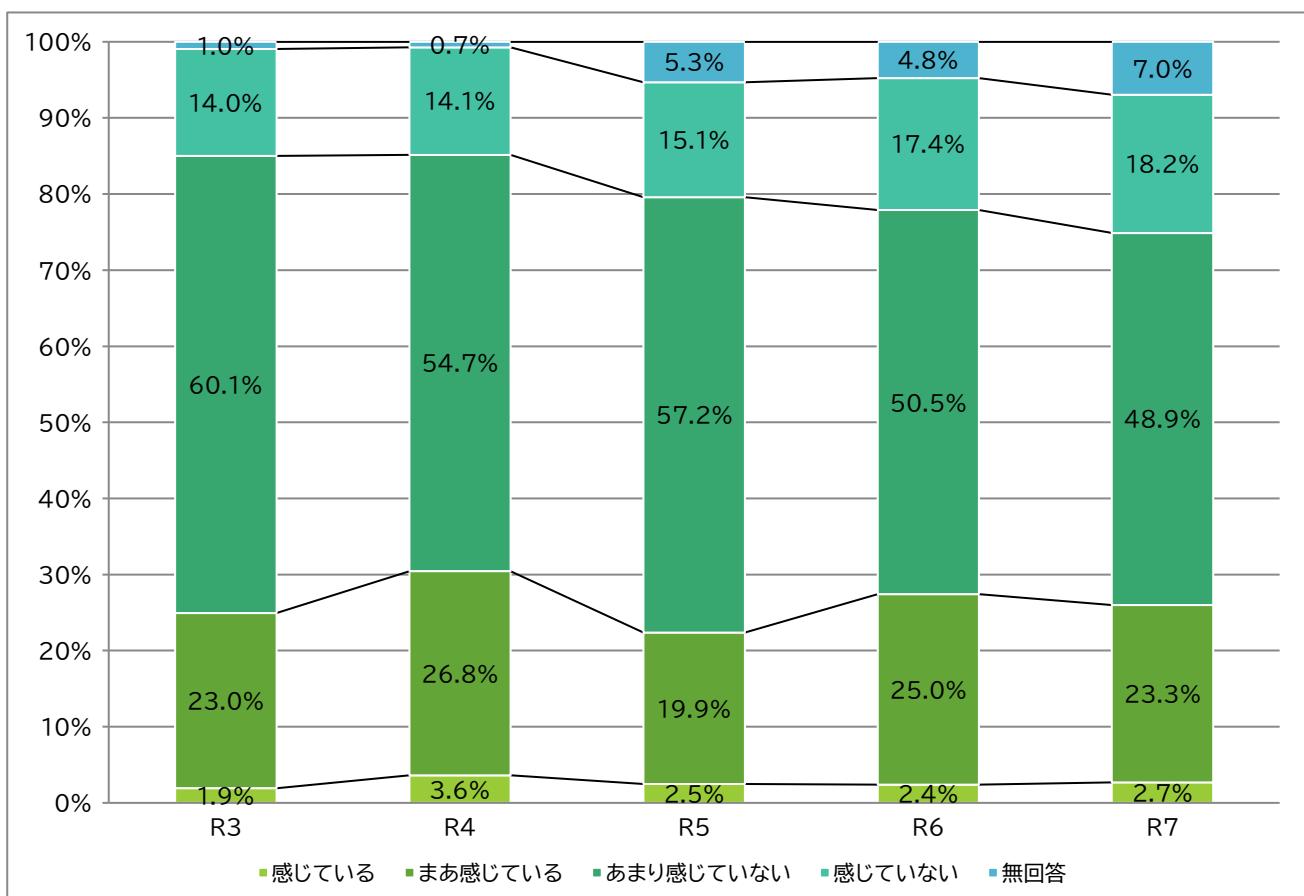
※男女別のグラフは性別無回答者の回答を含みません

## [ 年代別 ]



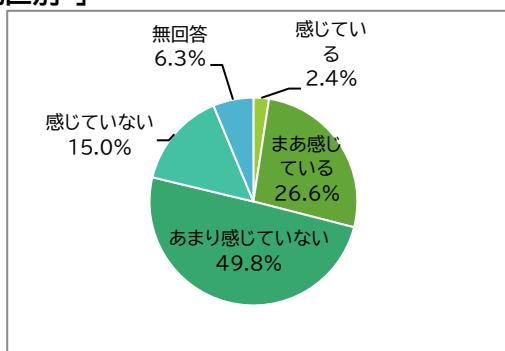
※年代別のグラフは年代無回答者の回答を含みません

## [ 経年変化 ]



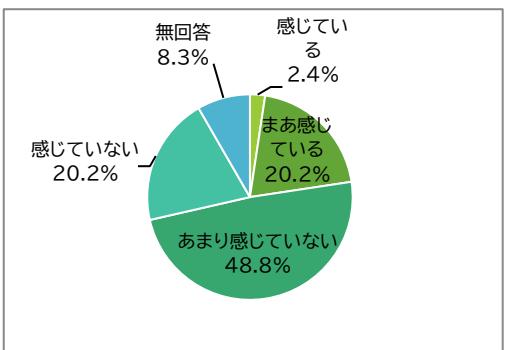
[ 地区別 ] ※地区別のグラフは地区無回答者の回答を含みません

昭和地区



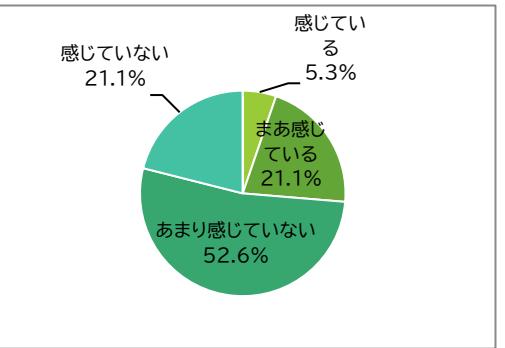
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	5	2.4%
まあ感じている	55	26.6%
あまり感じていない	103	49.8%
感じていない	31	15.0%
無回答	13	6.3%
計	207	100.0%

長浦地区



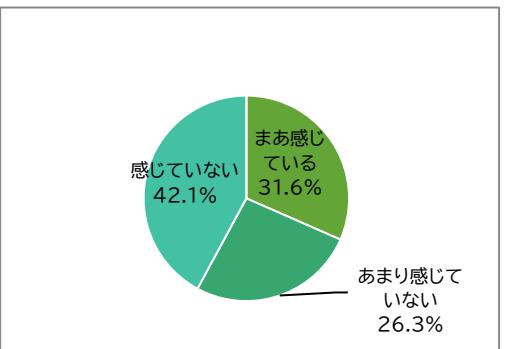
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	4	2.4%
まあ感じている	34	20.2%
あまり感じていない	82	48.8%
感じていない	34	20.2%
無回答	14	8.3%
計	168	100.0%

根形地区



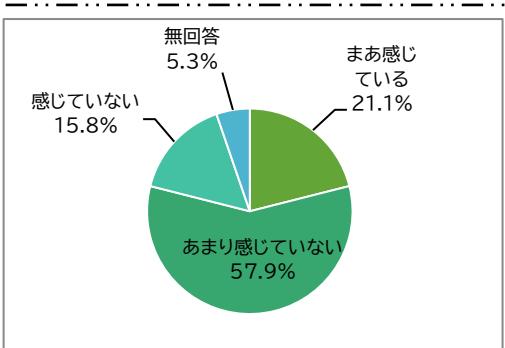
選択肢	選択者(人)	割合(%)
感じている	1	5.3%
まあ感じている	4	21.1%
あまり感じていない	10	52.6%
感じていない	4	21.1%
計	19	100.0%

平岡地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
まあ感じている	6	31.6%
あまり感じていない	5	26.3%
感じていない	8	42.1%
計	19	100.0%

中富地区



選択肢	選択者(人)	割合(%)
まあ感じている	4	21.1%
あまり感じていない	11	57.9%
感じていない	3	15.8%
無回答	1	5.3%
計	19	100.0%

### (3) 自由意見

設問：安心して子育てができる社会の実現に向けて、ご意見やご要望などを自由にお書きください（項目で分類：複数回答）

#### [意見・要望の特徴]

最も多いのは交通安全のための施策の充実についての意見、その次に生活安全のための施策の充実に対する意見が多く見られた。

産婦人科や小児科の拡充を求める意見は継続して多い。

地区別の特徴として、昭和地区では、交通安全のための施策の充実として、通学路へのガードレールやカーブミラー等の設置を求める意見が多く見られた。また、長浦地区では、屋外の遊び場の拡充を求める意見が多く見られた。

〔全体〕※回答人数446人うち196人が回答

